

35号 きゅう舎 解体工事

図 面 リ ス ト					
番 号	図 面 名 (建 築)	縮 尺	番 号	図 面 名 (電 気)	縮 尺
K-00	表紙・図面リスト	NS	E-01	1階平面図（電気設備撤去）	1/100
K-01	特記仕様書・現場説明書	NS	E-02	2階平面図・屋根伏図（電気設備撤去）	1/100
K-02	付近見取図・競馬場全体配置図	1/3,000			
K-03	きゅう舎配置図	1/1,000			
K-04	仕上表	NS			
K-05	1階平面図	1/100			
K-06	2階平面図・屋根伏図	1/100			
K-07	立面図	1/100			
K-08	基礎・天井伏図	1/100			
K-09	小屋伏図	1/100			
K-10	矩計図－1	1/20			
K-11	矩計図－2	1/20	番 号	図 面 名 (電 気)	縮 尺
K-12	1階平面詳細図・内部仕上	1/50	M-01	1階平面図（衛生設備撤去）	1/100
K-13	2階平面詳細図－1・内部仕上	1/50			
K-14	2階平面詳細図－2・内部仕上	1/50			
K-15	建具表	1/50			
K-16	詳細図	1/50・20			
K-17	架構図	1/20			
K-18	馬洗場図－1	1/50			
K-19	馬洗場図－2	1/30・20			
K-20	整地計画図	1/1,000・100			
K-21	解体要領書	NS			

3 5号きゅう舎解体

工 事 仕 様 書

I 工事概要

1. 工事場所

鳥栖市

2. 敷地面積

450,000 m2

3. 工事種目

解体工事、整地工事

解体概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	建築基準法別表第1の区分	備 考
35号きゅう舎	CB造	2	471.80 ㎡	－	
馬洗場	S造	1	49.80 ㎡	－	
(合計)			(521.60 ㎡)		

4. 工事工期

実工期 1 2 0 日間

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（平成31年版）」（以下「改修仕様」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説（平成31年版）」（以下「解体共仕」という。）による。但し、改修仕様及び解体共仕に規定されていない項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（平成31年版）」（以下「仕様」という。）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事および機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は（／）図、機械設備工事の工事仕様書は（／）図による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内の表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の改（ ）内の表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の標（ ）内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) (別)は(5、3、7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。

項 目	特 記 事 項
① 適用基準等	・建築工事標準詳細図（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版） ◎工事写真の撮り方 建築編 宮繕工事写真撮影要領（平成28年版）・同解説 ◎建築物解体工事共通仕様書・同解説（社団法人 公共建築協会 平成31年版）
② 工事実績情報の登録	※適用する (1. 1. 4)
③ 発生材の処理等	引渡しを要するもの（ ） (1. 3. 10) 特別管理産業廃棄物 ・有（保管） ○無 再利用を図るもの（ ） 再生資源化を図るもの
4 品質計画	・建築基準法に基づき定められる風圧区分等の適用工事 改（1. 3. 6） 8章 9章 10章 13章 14章 16章 17章 風速（V ₀ ＝ 34 m/s） 地表面粗度区分（Ⅰ Ⅱ ※Ⅲ Ⅳ）
5 電気保安技術者	※適用する (1. 3. 3)
⑥ 条件明示項目	※・解体共仕 1. 3. 5による (1. 3. 5)
⑦ 建築材料等	本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（平成15年度版）」によるほか、これと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の等しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとするができる。
8 特別な材料の工法	共仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
9 技能士	技能士の適用職種 改（1. 6. 2） ・鉄筋施工 ・左官 ・建築大工 ・塗装 ・造園 ・型枠施工 ・とび ・防水施工 ・建築板金 ・ガラス施工 ・塗装（装具） ・表装（壁装） ・内装仕上施工 ・塗装作 ・建具製作 ・建築配管

⑪ 完成図等

※作成する ・作成しない
完成図の原図サイズ及び仕様 ※現場説明書による
C/Aのデータは提出し、ファイル形式は監督員の指示による。
工事完了後は基準からの管理高さを測定した出来形図を提出する。
存置した埋設物の処理等を図示して提出する。

⑪ 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

⑫ 完成写真

現場説明書及び下記により監督員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原稿の大きさ (mm)
・モノクローム ・キャビネ版	外部（ ）内部（ ）	・3	・100×125以上
※カラー ・キャビネ版	外部（ ）内部（ ）	※1	※100×125以上
・カースライド	外部（ ）内部（ ）	※1	※24×36以上

撮影業者 ・監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

13 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
施工範囲 別表－1による

⑬ 設計GL

・図示 ○設計GL＝現状GL

⑭ 建設機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。
※排出ガス対策型建設機械とは、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された排出ガス対策型建設機械をいう。

機 種	備 考
○バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ○ブルドーザ ○電動発電機（可搬式） ○空圧圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット類 ・バグのりや ・油圧式鋼管圧入引抜機 ・アース・ガ 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの ・油圧ハンマ ・オールケーシング掘削機 ・リバーササーキュレーションドリル アースドリル ・地下連続壁施工機 ・全回転型オールケーシング掘削機 ○ロータリ ○ロードローラ ○タイヤローラ ○振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械を対象とする。

※建設機械を使用しないときは、エンジンを停止するなど建設機械の稼働時間の抑制に努めること。
※低騒音型建設機械の適用
建設機械名 ・杭打ち機 ・トラクタショベル
○バックホウ ○ブルドーザ

2 仮設工事

1 監督員事務所

・設ける（ ）㎡程度 ・設けない
備品については、監督員の指示による。 (2. 3. 1)

② 工事用水

構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（※有償 ・無償） (2. 3. 1)

③ 工事用電力

構内既存の施設 ○利用できない ※利用できる（※有償 ・無償） (2. 3. 1)

3 土工事

① 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 標（3. 2. 3）標（表3. 2. 1）
（便槽及びU字溝等の撤去部分の真砂土埋め戻し含む）

② 建設発生土の処理

・構外指示の場所
受け入れ場所（ ） 標（3. 2. 5）
搬出距離（ Km）
※構外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい積 ○構内指示の場所に敷き均し

4 その他

① 電気設備

○配管配線及び照明器具、盤類全て解体撤去を行うこと

② 給排水衛生設備

○配管・衛生機器類全て解体撤去を行うこと

③ 空調設備

○配管・機器類全て解体撤去を行うこと

④ アスベスト含有建材

○石棉障害予防規則等に基づき適正工法にて解体処分を行うこと
※解体共仕6. 1. 1～6. 5. 4による

5. アスベスト吹付材撤去

・石棉障害予防規則等に基づき適正工法にて解体処分を行うこと
※解体共仕6. 1. 1～6. 5. 4による

現場説明書

建設業退職金
共済組合

1. 建設業者は、組合に加入するとともに、その建設業退職金制度の対象となる労務者について、証紙を必要な分購入し、当該労務者の共済手帳に貼付すること。

2. 工事を受注した建設業者は、組合の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事請負契約書締結後、契約の相手方に提出すること。なお、期限内に収納書を提出できない特別な事情がある場合は、あらかじめその理由及び証紙購入予定をあわせて申し出ること。

3. 証紙購入状況を把握できるように、関係資料を整理すること。

4. 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の組合加入並びに証紙購入及び貼付を促進すること。

5. 建設業者の規模が小さく、管理事務処理の面で万全でない場合は、元請業者が組合加入手続き及び組合関係事務の処理を積極的に受託すること。

安全対策

災害、公害の防止については、「公共建築工事標準仕様書」による他、下記による。

(イ) 本工事における建設機械の使用については、環境汚染、鉛公害等防止のため、ガソリン無鉛化対策を講じたものを使用すること。

(ロ) 工事請負者は附近住民への防災その他の対策については、特に留意し、関係下請業者作業員にその趣旨を徹底し、紛争が生じた場合は、直ちに監督員に報告し、責任をもって処理すること。

(ハ) 危険物、土砂及び塵埃が現場より飛散せぬよう防止対策を日常怠らぬようにすること。

(ニ) 震動、騒音を伴う工事については、その防止対策を講ずると共に作業日時は次の通りとする。
○日曜日には作業は行わない。尚、作業時間については、周辺居住者との十分な協議を行う等の措置を講じ、且つ関係法規等に抵触することのない様十分配慮し作業を行うこと。

(ホ) 建設現場内、外を問わず、道路、構築物等を破壊あるいは、汚染させた場合は、本工事請負業者の責任において、すみやかに原形に復し、管渠等への土砂の流入があった場合は直ちに除去すること。

(ヘ) キャタピラ付特殊車等の場内道路の通行については監督員の指示をうけること。

危険防止

工事期間中の危険防止については下記によること。

(イ) 工事期間中危険と思われる箇所について危険防止のための可動柵、立入禁止の表示、立札を設置し、夜間は必要に応じ注意灯を設ける等の措置を講ずること。

(ロ) 工事期間中、周辺居住者の通行の安全性確保のため交通整理員を配置する等、必要に応じて措置すること。

注意事項

1. 官公署等へ手続きについては「公共建築工事標準仕様書」による他、地元に対しても打合せ等を十分に行い、工事中も地元及び関係官公署に対し、連絡を保ち遺漏のないようにすること。

2. (前払金保証契約第7条の2)の保険事業会社への通知

(イ) 請負者は、工事変更の被保険者（発注者）から保証事業会社への通知を発注者に代わって行うものとする。

(ロ) 通知方法は、工期変更にかかる工事請負変更契約書の写しを送付して行うものとする。

3. 工事を受注した業者は、適正な資金の確保、及び労働災害の防止等、建設労働者の保護につとめるとともに、建設資材納入業者の利益を不当に害することなく、公正な取引を行うこと。また、工事の実施に当たっては、下請代金の決定（前払金を含む）、下請代金の支払い等についての不適正な条件による下請をしないこと。さらに、不必要な重層下請が生じないように配慮すること。

4. 建設資材の価格変動に対応した下請金額の変更については、適切に措置すること。

工事の案内板（広報等を含む）

工事の案内板は、書入内容、製作法、使用材料、設置位置について監督員と協議し設けること。

土砂、工事用資材等のダンブ、トラック等、大型貨物自動車による搬送計画、通行道路の選定、その他の車輛の通行に係る安全対策について、請負業者は関係機関と十分協議して、必要な具体的内容を定め、監督員の承諾を得たうえでこれを誠実に履行すること。なお、官公署等に対する許可届等の手続きを行うものとする。

仮囲い等

仮囲い及び仮柵については、設計図により実施すること。なお、現場の状況により仮囲い等の変更が必要な場合は、監督員との協議により実施すること。

工事中の写真

工事中及び竣工写真については、建設大臣官房営繕部監修「工事写真の撮り方（建築編）」による他、建設地周辺に建築物、構築物等がある場合は適当な区画を定め、必要に応じ、着工前に建築物、構築物を撮影すること。

その他特記事項

○設計図書の優先順位は、質疑回答書（以下に対するもの）、現場説明書、特記仕様書、図面、標準仕様書の順とする。

○工事中場内では危険防止に特に注意を払い、工事用車両等は徐行運転をし駐車は指定の場所に行うこと。

○工事の一部を下請に付する場合は、下請契約の形式を明確にして、直ちに一部下請申請書を提出し、承諾を得ること。

○労働災害事故に備え、建設労働災害補償制度へできる限り加入すること。

○下請業者については、市内業者を優先的に採用すること。

○現場代理人及び主任技術者又は監理技術者（主任技術者）は、請負者と直接かつ恒常的な雇用関係にある者でなければならない。

○主任技術者（監理技術者）を真にやむを得ない場合のほか、工期途中で交代させてはならない。

○請負金額が130万円以上の工事については、工事関係資料（工事記録写真、出来形管理資料等）を工事の工期が終了する7日前（1、000万円以下の工事については3日前）までに、監督員を通じ検査員に提出しなければならない。

○請負者（又は現場代理人）並びに主任技術者（監理技術者）は、検査に立ち会わなければならない。

○建設副産物の処理について

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「再生資源の利用の促進に関する法律」及び「建設副産物適正処理推進要綱」その他関係法令に従い処理すること。

2. 産業廃棄物の収集・運搬は許可を受けた収集運搬業者の車輛とする。また、処理についても許可を受けた処分業者の処分場（中間処理場を含む）とする。

3. 伝票管理制度（マニフェストシステム）及び写真等による、産業廃棄物処理報告書を作成すること。

4. 再利用が可能な建設副産物については、リサイクルを前提とした処理に努めること。

5. 再生資源利用計画書及び実施書は建設副産物情報交換システム（コプリス）又は国土交通省HPに掲載されているExcel様式にて作成し提出すること。（100万円以上のすべての工事が対象）

○機械工法とする。

○重機の機種、台数、作業順序、人員等の作業、運搬方法、埋設物等の計画書を監督員に提出し承諾を受けること。

○解体前、解体中、解体後の工事写真を撮影する事（カラーサービス版）特に地中埋設物の撤去及び処理の状況は入念にすること。

○産廃処理場の写真及び本工事産廃分の写真及び産廃処理場まで運搬経路の写真及び運搬中の写真を撮ること。

○窓ガラス等のガラスは、解体工事前に撤去すること。

○解体発生材の捨場、運の経路等を事前に監督員に報告し、処理方法等の問題で近隣に迷惑をかけない様に十分注意を払い、終了後は所定の清掃・整地を行うこと。

○発生材のうち引き渡しを要する物は、指示された場所に整理の上、調査（目録、明細書）を添えて監督員に提出すること。

○発生材の運搬中、塵芥が落下飛散しない様万全を期する事。やむなく落下飛散した時は、すみやかに跡片付け清掃をすること。

○解体によって生じた屑、敷地内の障害物、地下埋設物等は監督員の指示により場外に搬出し、全面清掃をしてから整地をすること。

○着手前には「仮設計計画書」「解体計画書」「産業廃棄物処理計画書」「騒音・振動規制法の届出」を提出し、監督員の承諾を得ること。

○着工に先立ち、現場代理人届け、及び工程表を提出し、承諾を得ること。

○解体時の現場の安全管理は、現場員が常駐し管理すること。

○既設埋設配管には充分に注意をはらい緊急時には迅速に対応できる体制をとっておくこと。

○解体工事中は適切に散水等を行い粉塵の飛散防止に心がけること。

○解体工事中に新たに発生した障害物・地下残存物は、監督員の指示により適切に処理すること。

1. 本工事は検査時の成績評定を「合格」「不合格」の2通りで行う。なお、検査に合格しないときの補修の義務等は契約書のとおりである。

2. 受注者は前項の規定に関わらず、成績評定を希望する場合、契約締結日から1週間以内に協議をすること。監督員は契約監理課に通知すること。

○佐賀競馬開催日（終日）及び発定調教・能力検査・検疫の実施時間中（不定期）は作業禁止とする。作業時間は、10：00～18：00の間とする。

やむを得ず作業を実施する場合は事前に監督員と協議すること。

共通事項

工事名

3 5号きゅう舎解体工事

縮 A1版：NS
R A3版：NS

図番号

K

設計

年月日

一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳
(有)白濱建築設計事務所

0 1

図面名

特記仕様書・現場説明書

工事名

3 5号きゅう舎解体工事

縮 A1版：NS
R A3版：NS

図番号

K

設計

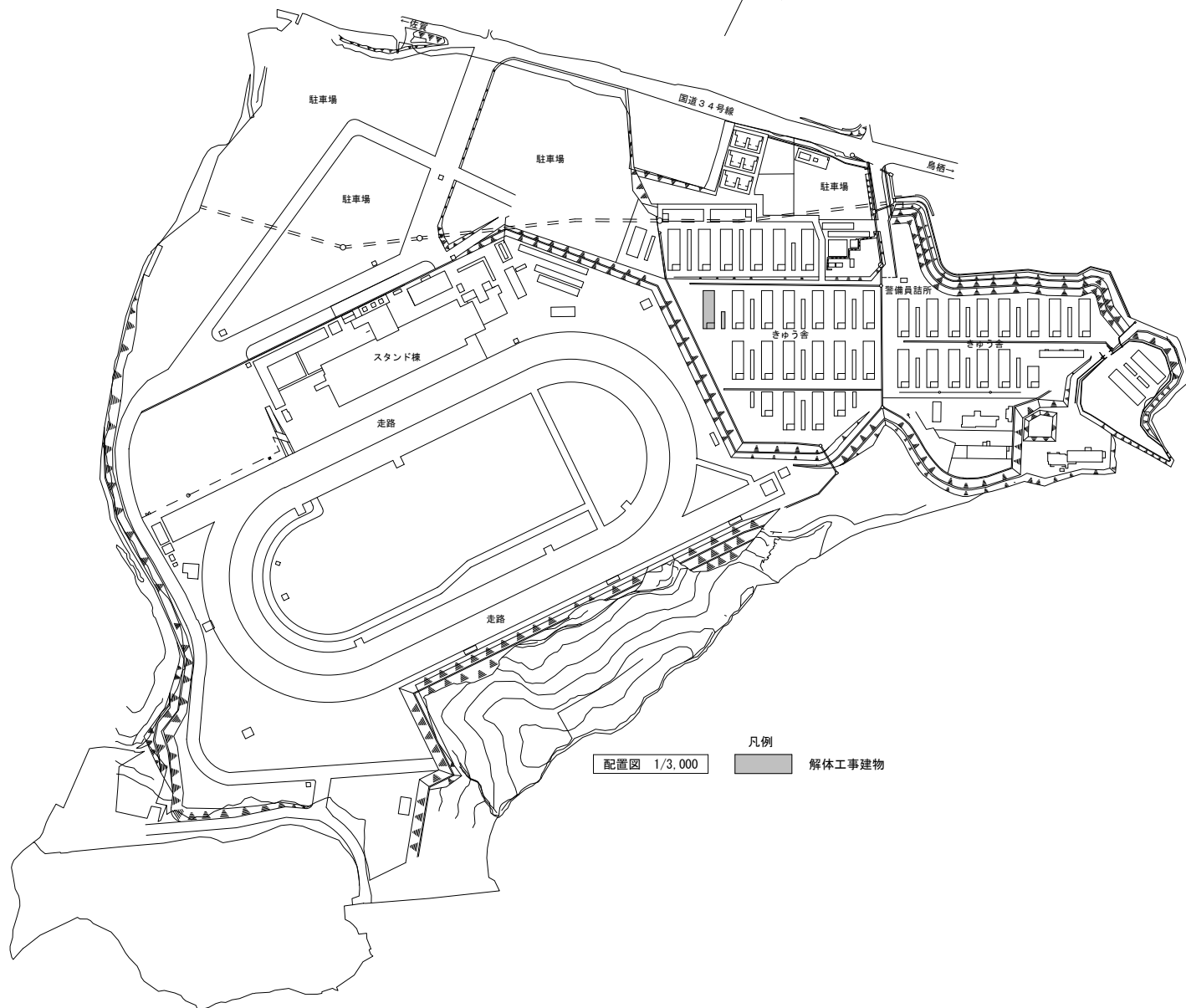
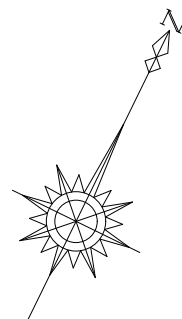
年月日

一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳
(有)白濱建築設計事務所

0 1

図面名

特記仕様書・現場説明書



付近見取図 NS

配置図 1/3,000

凡例

 解体工事建物

共通事項			工事名	縮	A1版：1/3,000	図 番 号
			35号きゅう舎解体工事	尺	A3版：1/6,000	
			図面名	設	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳	／ 02
			付近見取図・競馬場全体配置図	計	年 月 日 (有)白濱建築設計事務所	

指定仮設

仮囲い : 単管下地+成形鋼板 H=3,000 L=134.0m
クロスゲート H=1,800 W=6,000 1ヶ所
養生鉄板敷 t=22 W=6,000×D=3,000
交通誘導員 (延べ 40人)

◀ ● ● 工事関係車両の動線を示す

解体工事建物

仮囲い 25.0m
仮囲い 45.0m
仮囲い 45.0m
仮囲い 14.0m
仮囲い 5.0m
交通誘導員
鉄板敷き (厚22)
W=6,000×H=3,000
W=6,000×H=1.8m

きゅう舎配置図 1/1,000

共通事項		工事名 35号きゅう舎解体工事	縮尺 A1版: 1/1,000 A3版: 1/2,000	図番号 K
		図面名 きゅう舎配置図	設計 年 月 日	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所
				03

1 階 床 面 積 (既全棟)					
1 階	38.825	X	10.65	=	413.48625
2 階	7.20	X	8.10	=	58.32
合 計				=	471.80625

外 部 仕 上 表					
屋 根	瓦葺カラー塗装仕上げ及び鉄骨葺き、T型鉄骨葺き等①18マスファイトルーフィングZ140付			断 熱 材 留 施	軒外周仕上げ装 120 ㎜ 壁面仕上げ装 100 ㎜仕上げ装
軒 外 周	有孔石メンタ等④4mm厚スリット板 表地仕上げ 鼻隠し及び破風板 ラワン 718			断 熱 材	吹流し等④4mm厚スリット板(タイル・タイル)等出入り口木製建具(ハンガー等)厚40mm厚のOSD材等
取 扱	コンクリート打放し仕上げ			建 物 周 回 瓦 葺 装 飾	瓦葺コンクリート仕上げ 瓦葺U字型 (コンクリート蓋付)水切等瓦葺コンクリート
北 側 外 周 壁 (軒外周壁) 取扱い	コンクリート打放し仕上げ			取 扱	コンクリート打放し仕上げ 平屋北側：小波スレート張り (7x12'仕含有建材) 2階外壁：防火サイディング 712' (7x12'仕含有建材)

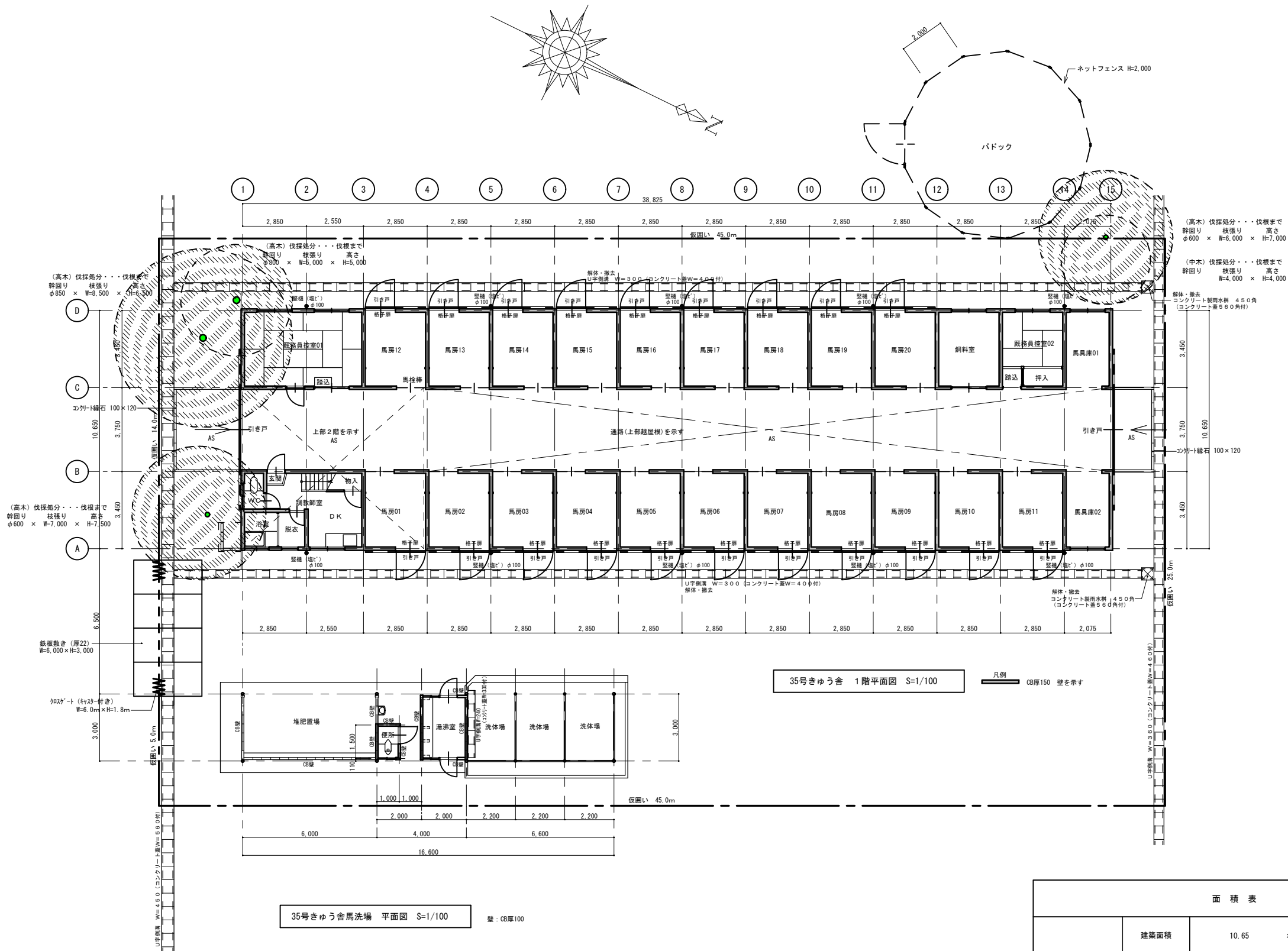
内 部 仕 上 表									
室 名	床	床 H	巾 木	腰	壁	梁	天 井	天 井 H	
監 理 人 室	1F D . K	75mm厚タイル金コテ アクリルフロアリング貼	4.320	木製(杉)OSH100	ブロック下地 ラスボード	ブロック下地 ラスボード	木製野縁 プラスターボード(目出し)EP 7.9.0	4.250	吊戸棚
	脱衣	7.5角タイル貼	↑		タイル金コテ V.P		木製野縁 木毛板④4mm厚 (7x12'仕含有建材)	4.250	
	浴室	タイル貼	.150	H=1.400まで 7.5角タイル貼	↑		↑	2.300	ホーロー浴槽 据置式
	便所	↑	.300		↑		↑	2.270	
	物入れ	5.5mmベニア板	↑	雑巾ズリ	ブロック下地 プラスター塗 木下地 5.5mm厚 ラスボード		断熱材 現し		
	脱衣	タイル貼 ラワン代茶地		断熱材 側板	断熱材 コンクリート ラスボード	断熱材 コンクリート 現し	木製野縁 プラスターボードEP 7.9.0		
	2F 廊下	アクリル フローリング貼	3.230	木製(杉)H60	ラスボード下地 プラスター塗		↑	2.400	
	7.5帖(2室)	タタミ敷	3.242	タタミヨセ	↑		↑	2.400	
	1F 1 入	5.5mmベニア板	↑	雑巾ズリ	ブロック下地 2.7mm貼		ベニヤ 2.7mm貼		
	12 帖	タタミ敷	↑	タタミヨセ	ラスボード下地 プラスター塗		木製野縁 木目化粧石膏ボード張 7.9.0	2.400	
事務員控室 01・02		75mm厚タイル金コテ タタミ敷	.150 320	タタミヨセ	ブロック下地 化粧合板 75.5 木下地 化粧合板 75.5	(01室)梁型：化粧合板張	(01天井)木製野縁 化粧石膏ボード張7.9.0 (02天井)木製野縁 プラスターボード7.9.0	2.250	
全 上 押入		5.5mmベニア板	↑	雑巾ズリ	ブロック下地 ベニア板 75.5mm ラスボード下地 ベニア板 75.5mm		木製野縁 ラワンベニヤ④2.7mm	2.250	
馬 具 庫		モルタルモコテ	.150	基礎コンクリート打放しH100	ブロック 化粧合板	断熱材 コンクリート 現し	雑巾ズリ		
飼 料 室		↑	↑	↑	↑	↑	プラスターボードB2m 7.9.0	2.700	
馬 房		ミ 和 土	.120	モルタル金コテH100	CB積下地の上 ベニア板④(1820) 厚 5.5mm	床下マデ モルタル金コテ貼	↑	2.700	
通 路		アスファルト	.120	基礎コンクリート打放しH100	ブロック 化粧合板	臥梁 コンクリート表し	木製野縁 プラスターボード7.9.0 ヤネウラ表し (木毛板外板 718)	4.650	梁型：コンクリート打放し

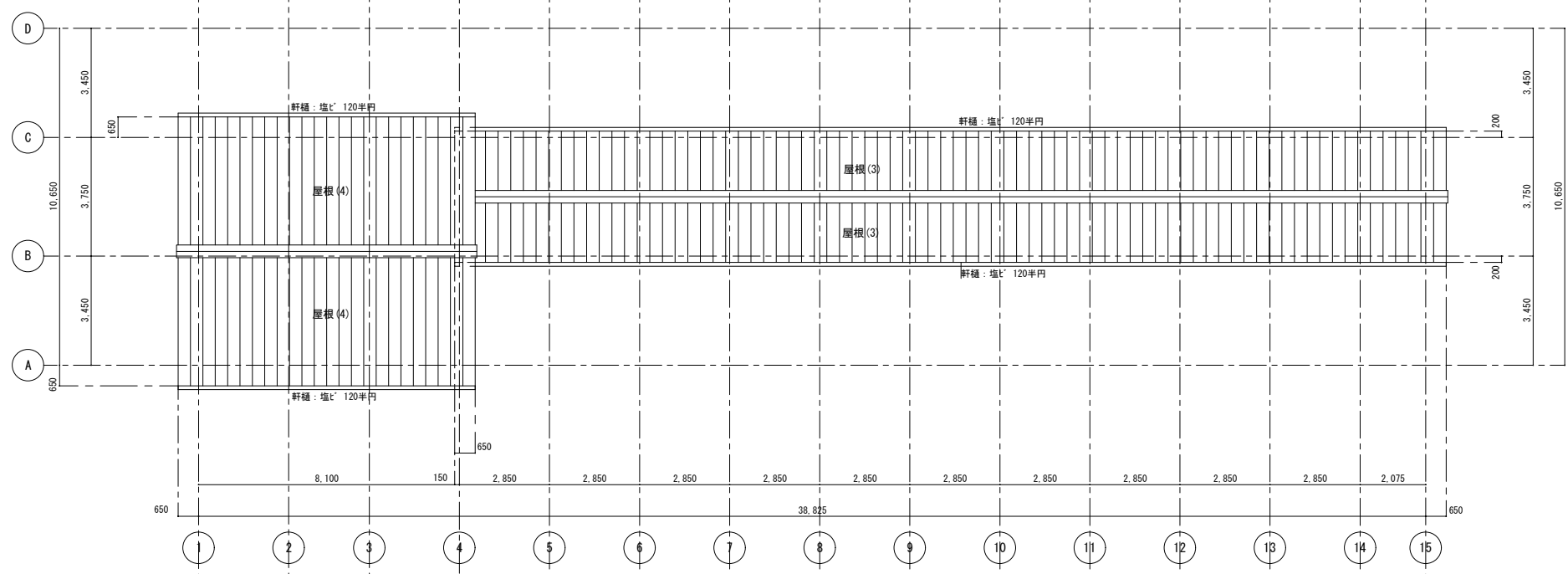
全 撤 去

共通事項		工事名 35号きゅう舎解体工事	図面名 仕上表	縮 A1版：NS	図 番 号 K
				尺 A3版：NS	
				設 年 月 日	
				一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所	

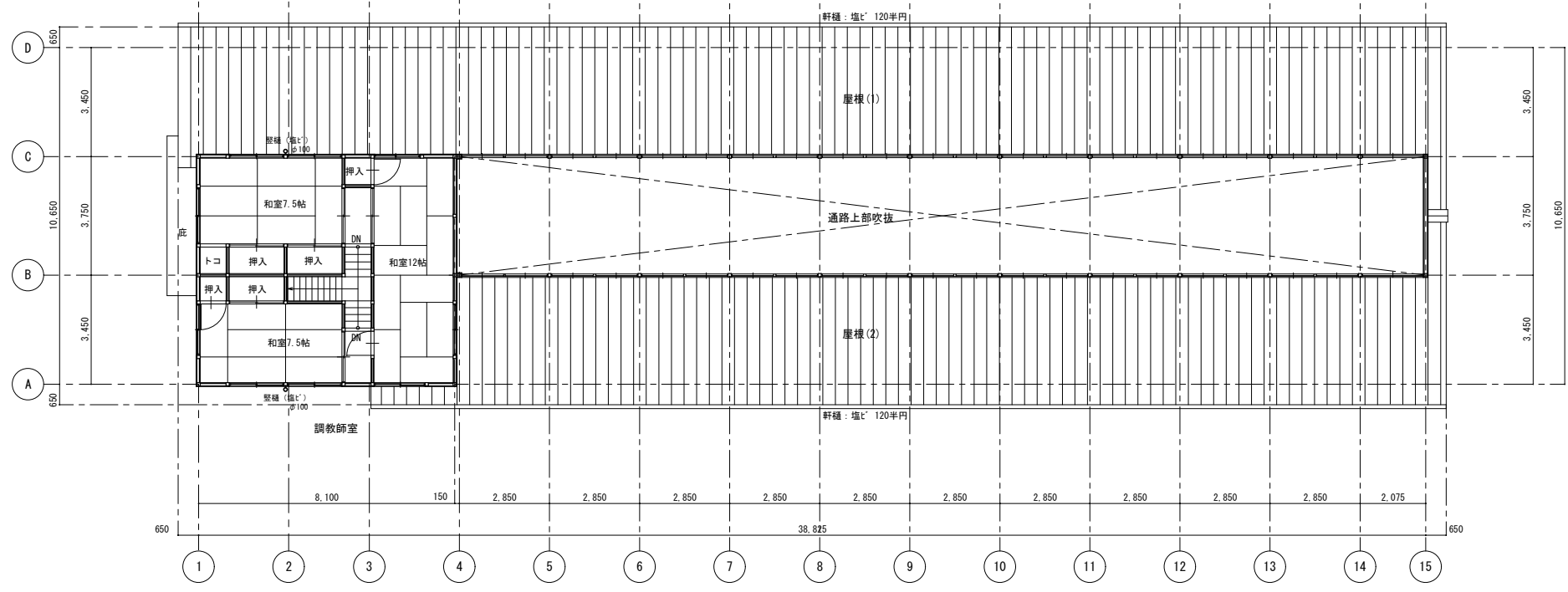
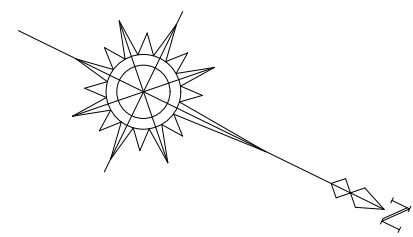
全 撤 去

※ 南北面側溝は撤去対象外とする
※ 西側バドックは撤去対象外とする



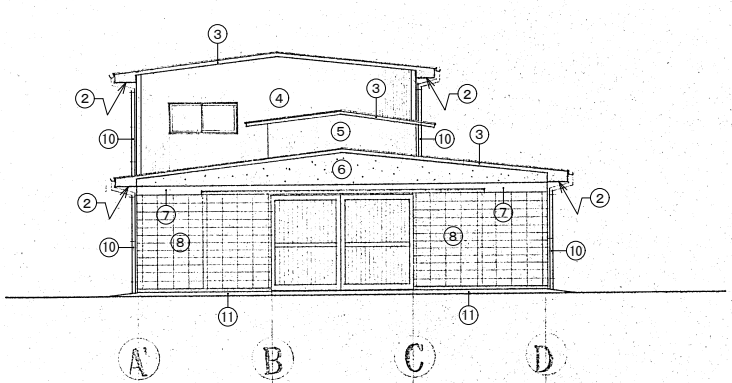


35号きゅう舎 屋根伏図 S=1/100

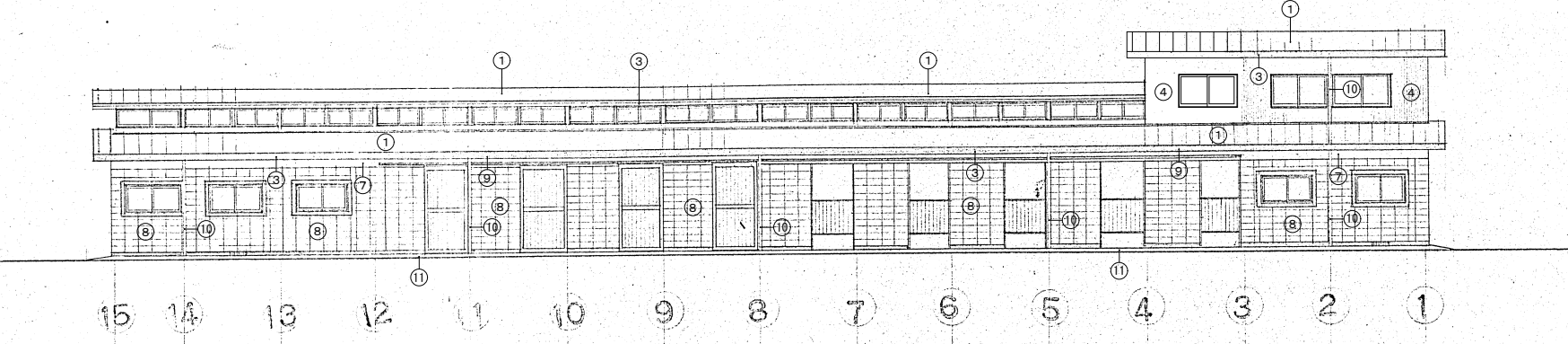


35号きゅう舎 2階平面図 S=1/100

面 積 表					
きゅう舎	床 面 積	2階	7.20 × 8.10	58.3200	58.32m2

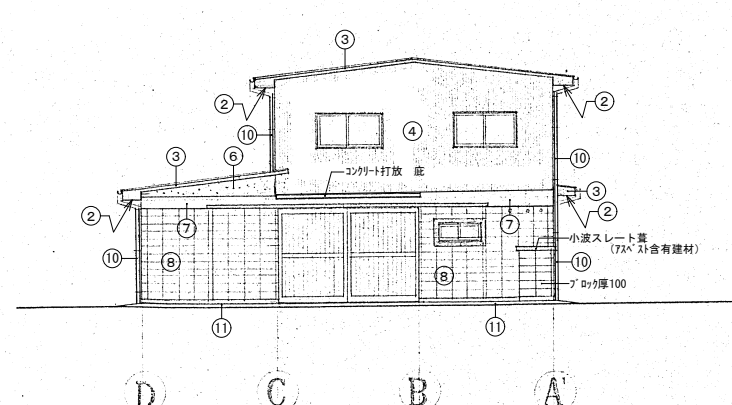


北 立 面 図

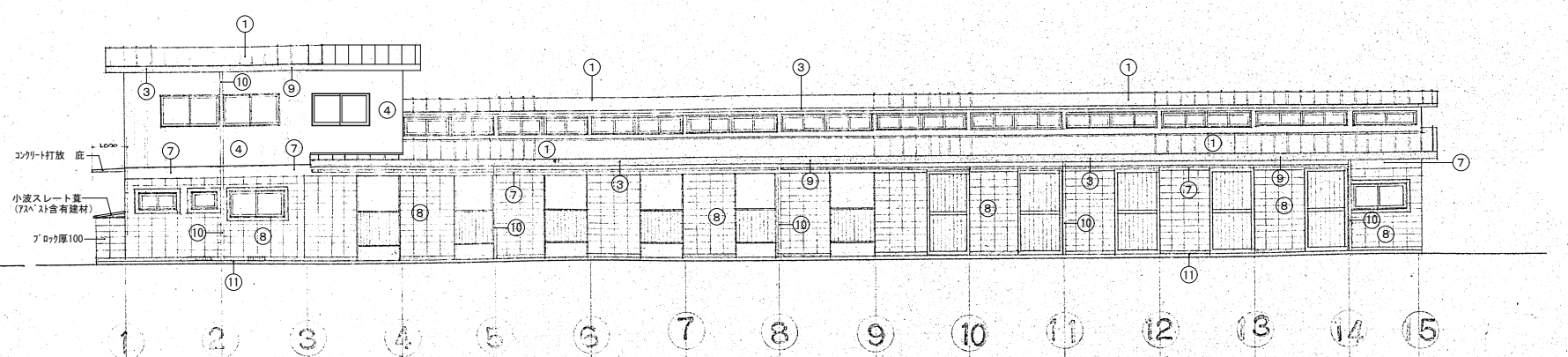


西 立 面 図

外部仕上 凡例	
①	長尺カラー鉄板 瓦葺き (下地: 木毛セメント板 718) (アスファルトルーフィング 21kg)
②	有孔石綿板 74mm (目スカシ貼 素地仕上) (アスベスト含有建材)
③	鼻隠し・破風板 ラワン 718
④	防火サイディング 712張 (アスベスト含有建材)
⑤	小波スレート (アスベスト含有建材)
⑥	リプラス下地 モルタル剛毛引
⑦	コンクリート打放し仕上げ
⑧	コンクリートブロック 7150化粧積
⑨	軒樋: 塩ビ製 120半円
⑩	壁樋: 塩ビ製 φ100
⑪	犬走り: コンクリート押え

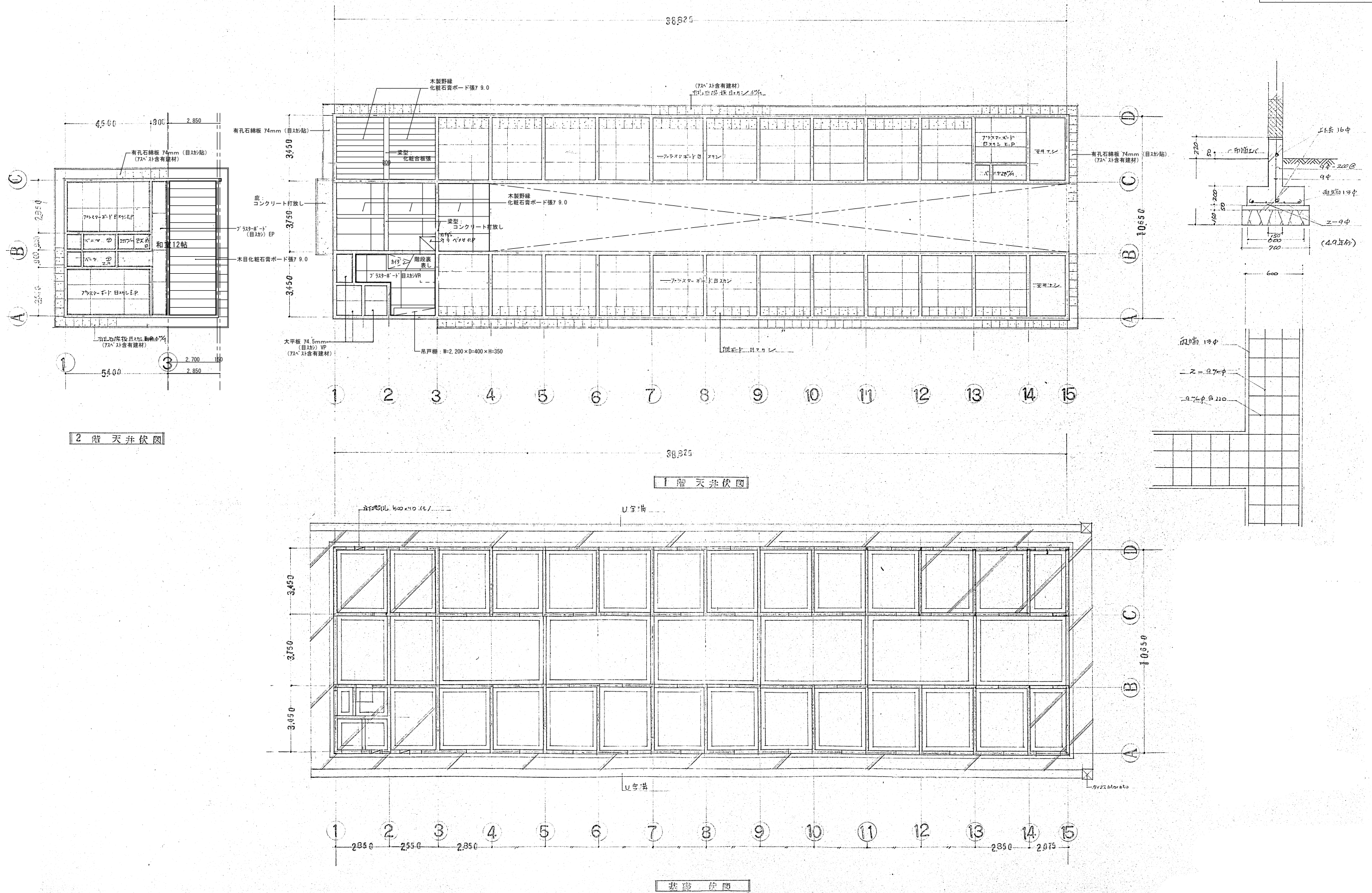


南 立 面 図

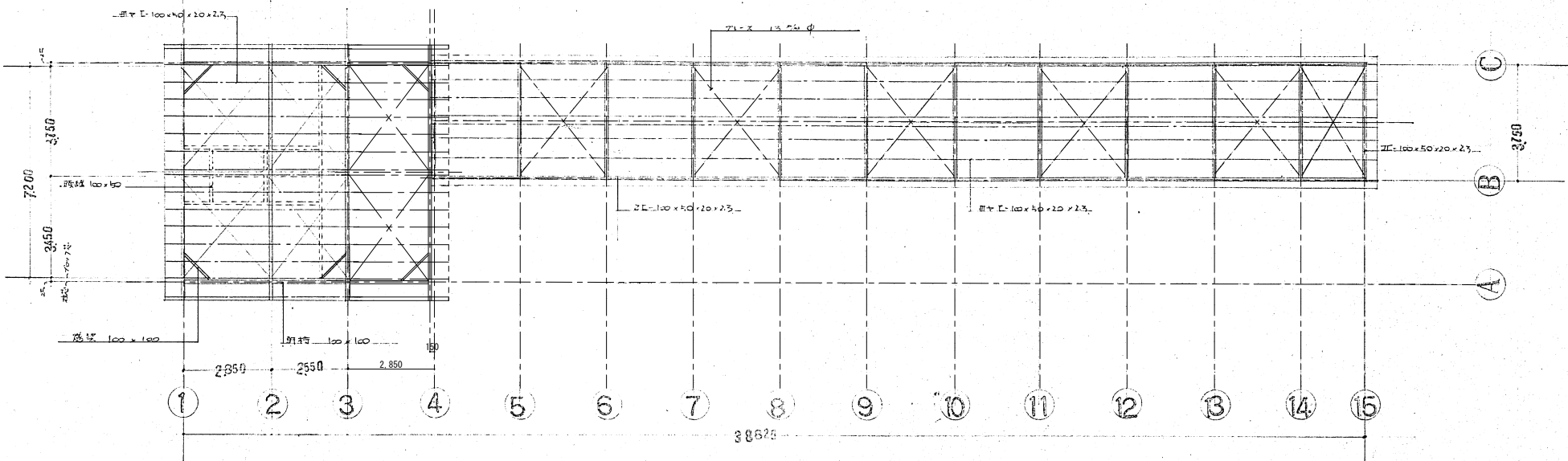


東 立 面 図

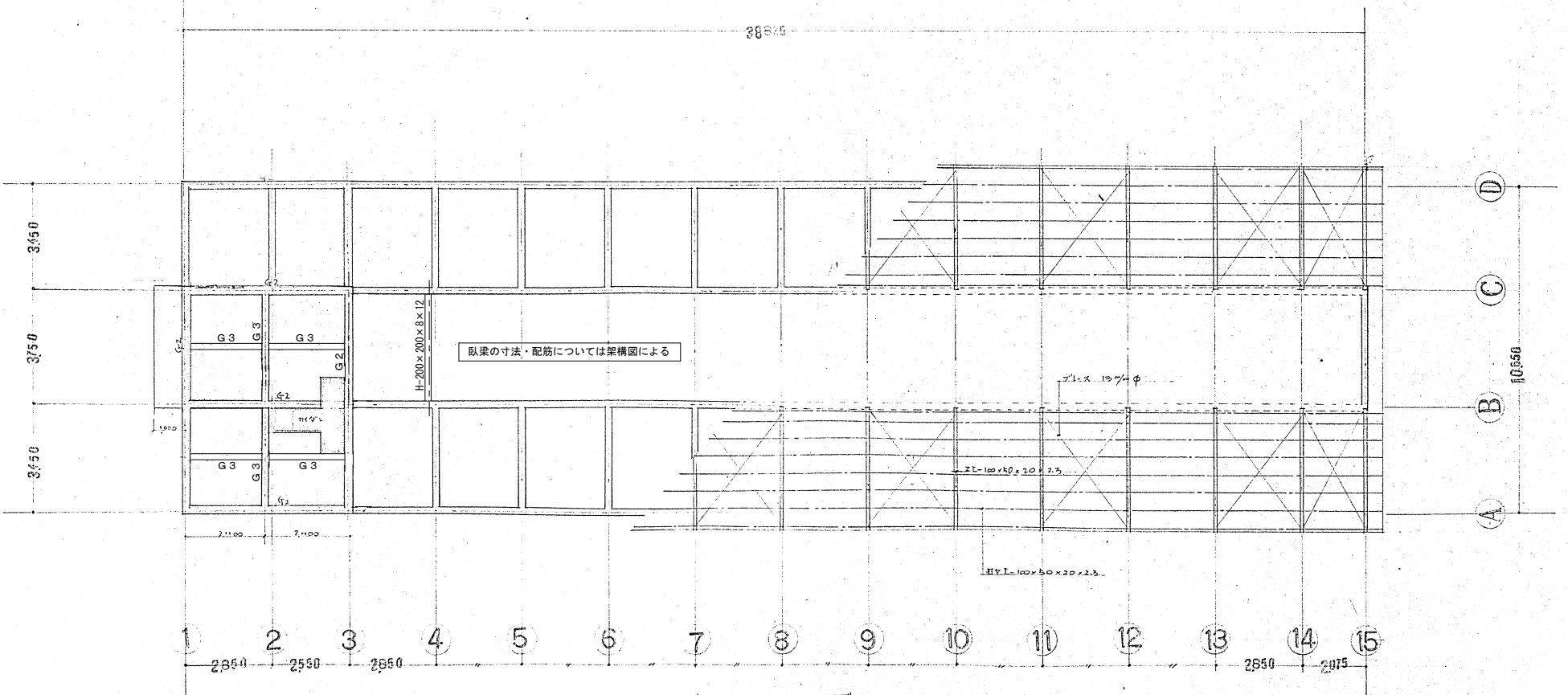
全 撤 去



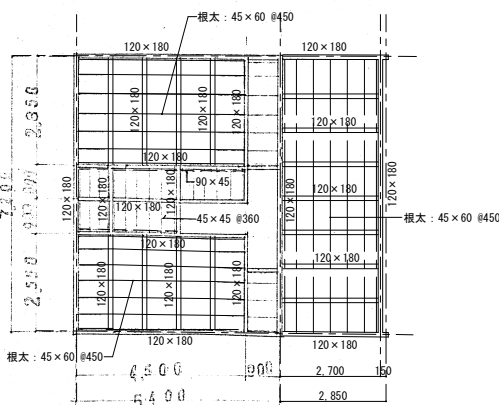
共通事項			工事名	3 5 号きゅう舎解体工事	縮尺	A1版：1/100 A3版：1/200		図番 K 08
			図面名	基礎・天井伏図	設計	年 月 日		



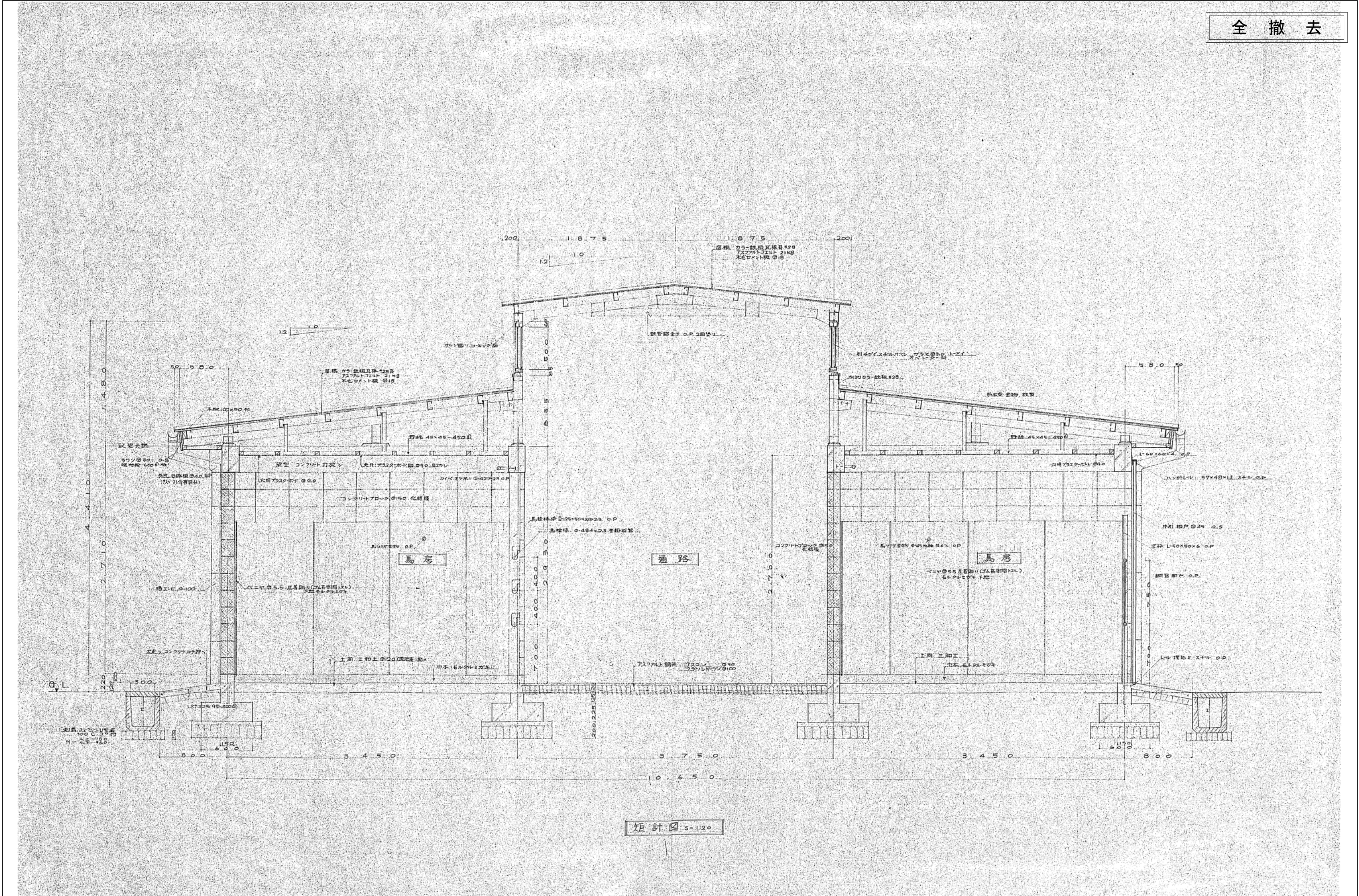
小屋 伏図



梁 及 小屋 伏図



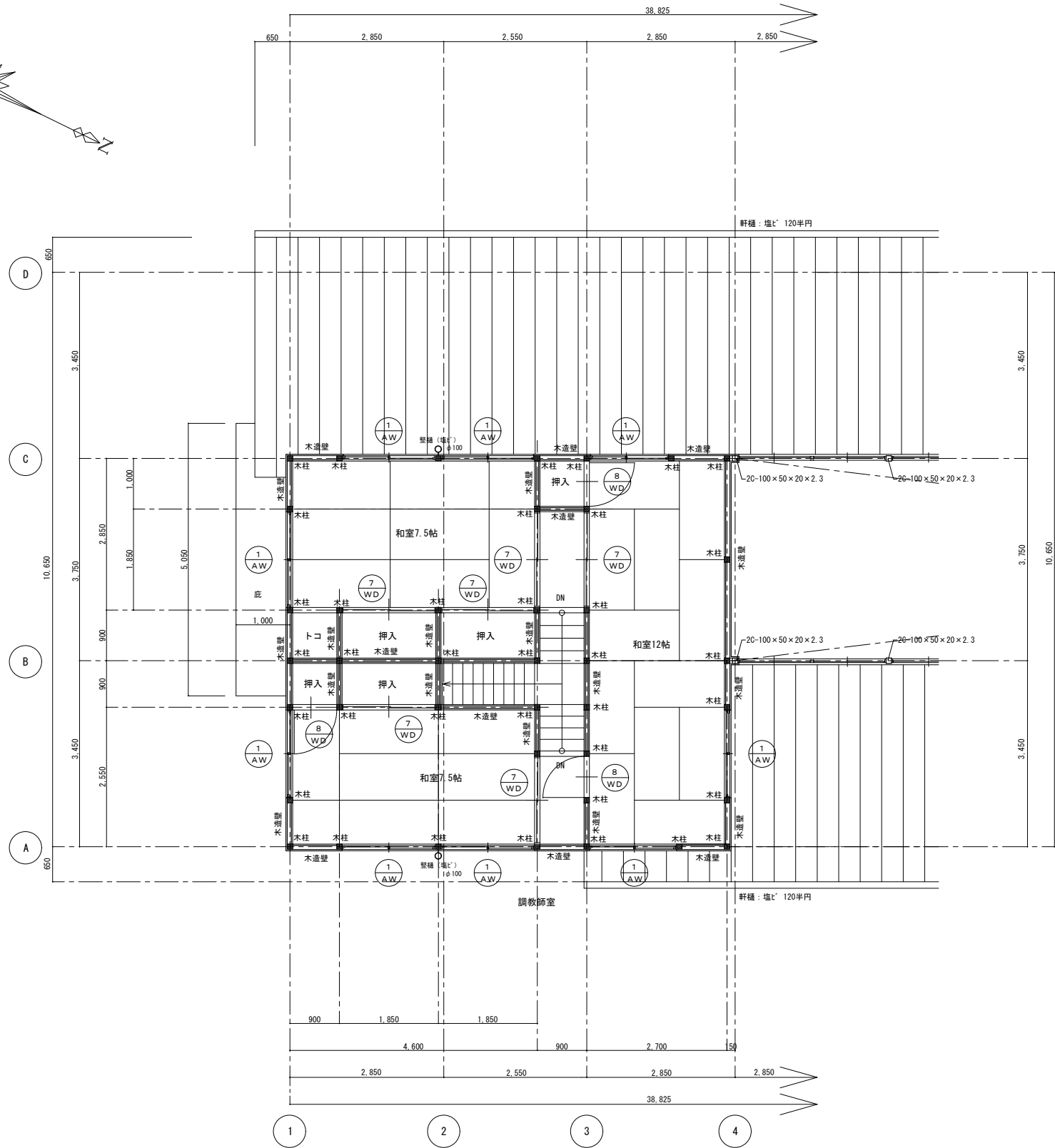
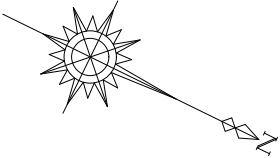
2階床 伏図



共通事項		工事名 35号きゅう舎解体工事	縮尺 A1版: 1/20 A3版: 1/40	設計 年月日	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所	図番 K 10
	図面名 矩計図-1					



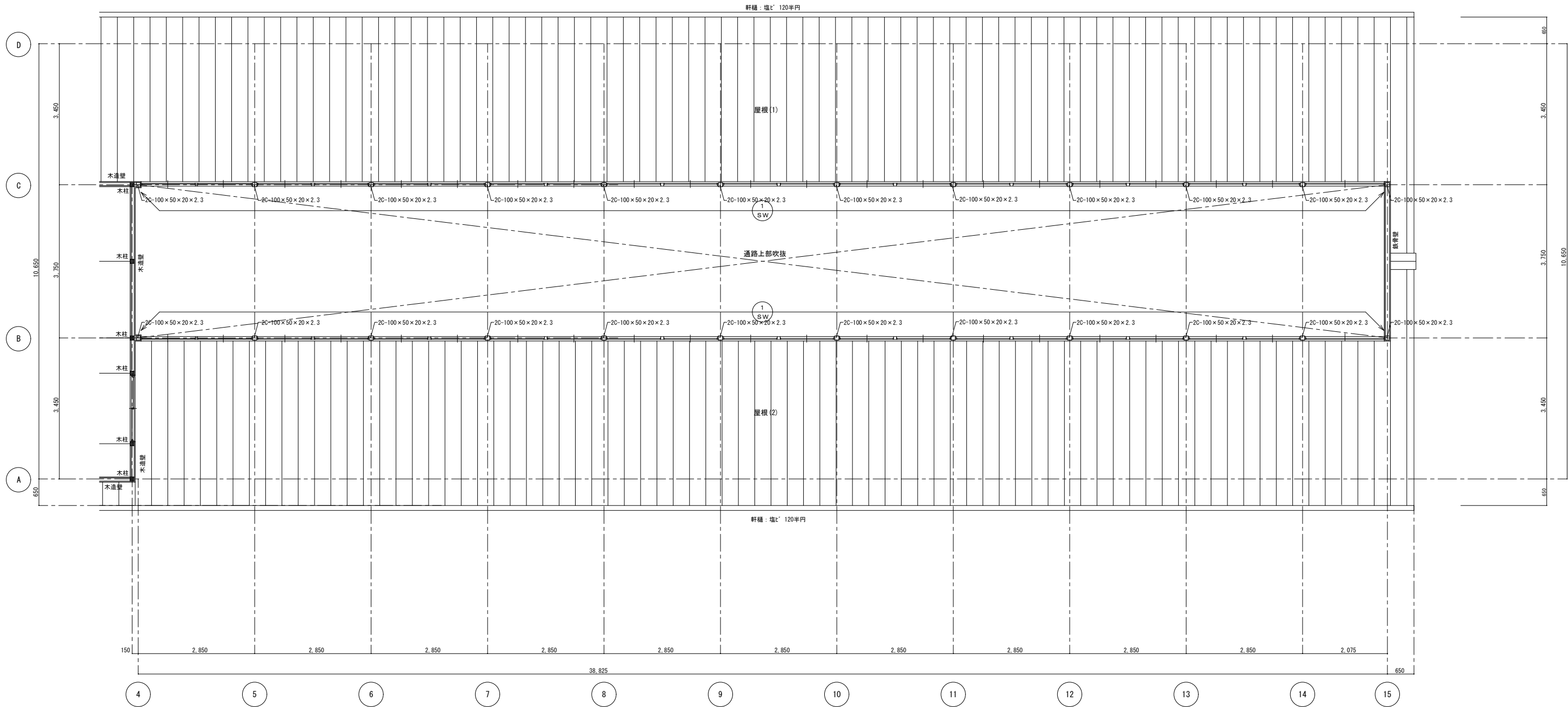
共通事項			工事名	3 5 号 き ゅ う 舎 解体 工事	縮 尺	A1版 : 1/20 A3版 : 1/40		図番 K 1 1
			図面名	矩計図－2	設計	年 月 日	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所	



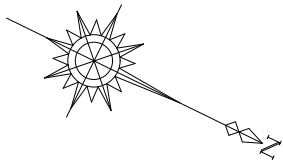
35号きゅう舎 2階平面詳細図1 S=1/50 木柱：100×100

全 撤 去

内部仕上			
室名	部位	現況仕上	備 考
調教師室 廊下	床	アビツンフローリング貼	
	巾木	木製（杉）H＝60	
	壁	ラスボード＋プラスター塗	
	天井	（木製野縁） プラスターボード79（目スカシ）EP	
調教師室 7.5帖 （2室共）	床	タタミ敷	
	巾木	タタミヨセ	
	壁	ラスボード＋プラスター塗	
	天井	（木製野縁） プラスターボード79（目スカシ）EP	
調教師室 押入	床	5.5mmベニア板	
	巾木	雑布摺	
	壁	2.7mmベニア板	
	天井	2.7mmベニア板	
調教師室 12帖	床	タタミ敷	
	巾木	タタミヨセ	
	壁	ラスボード＋プラスター塗	
	天井	（木製野縁） 木目化粧石膏ボード79張	



35号きゅう舎 2階平面詳細図 1/50



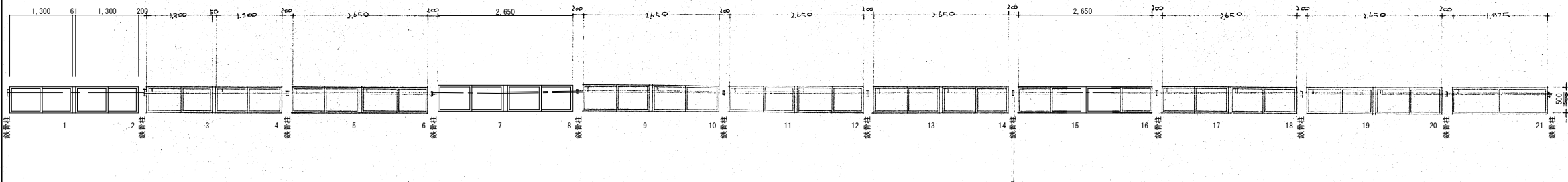
全 撤 去

内部仕上			
室名	部位	現況仕上	備 考
通路上部吹抜	床	通路仕上げによる	
	巾木	通路仕上げによる	
	壁	通路仕上げによる	
	天井	通路仕上げによる	

共通事項		工事名 35号きゅう舎解体工事	縮 A1版：1/50 尺 A3版：1/100	設計 年 月 日	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所	図 番 号 K 14
図面名 2階平面詳細図－2・内部仕上						

1	型式	片開バゲル	内法	H	x	W
SD	数量	20	材質	スチール	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス		仕上	OP		
金物	1式					

1	型式	21条開バ	内法	H	x	W
SW	数量	2	材質	スチール	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	3mmトメイ	仕上	OP		
金物	42-2式 オペレーター 装置付					



2	型式	引4ガイマ	内法	H	x	W
SW	数量	7	材質	スチール	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	3mmトメイ	仕上	OP		
金物	1式					

3	型式	引4ガイマ	内法	H	x	W
SW	数量	2	材質	スチール	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	3mm スリ	仕上	OP		
金物	1式					

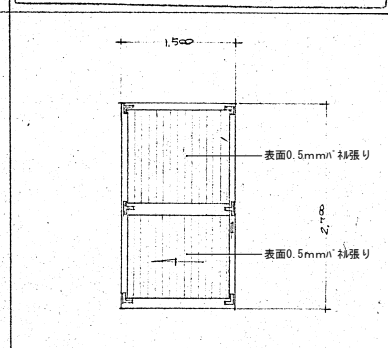
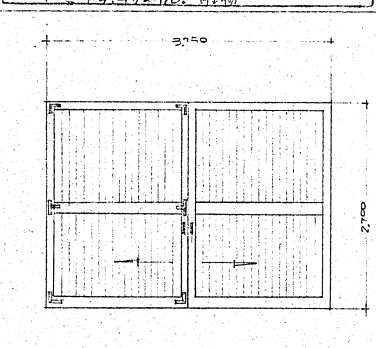
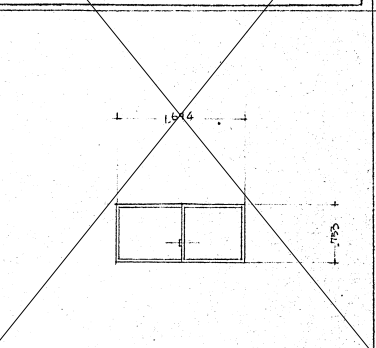
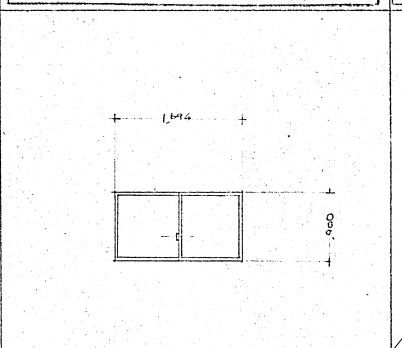
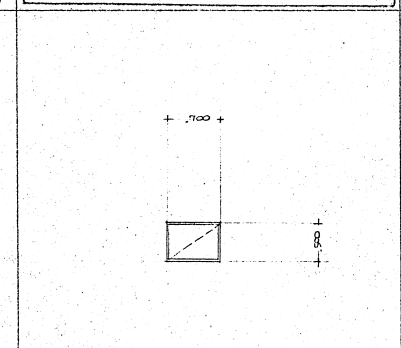
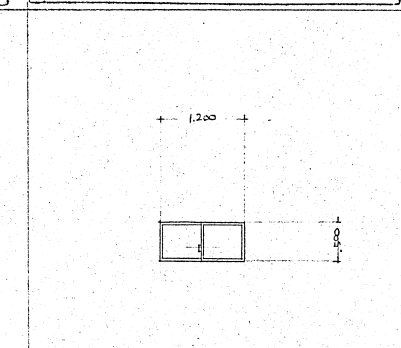
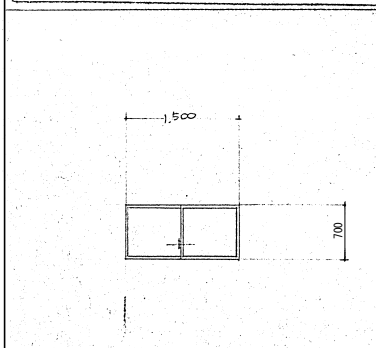
4	型式	スベリ出マ	内法	H	x	W
SW	数量	1	材質	スチール	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	3mmトメイ	仕上	OP		
金物	1式					

1	型式	引4ガイマ	内法	H	x	W
AW	数量	9	材質	アルミ	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	3mmトメイ	仕上			
金物	1式					

2	型式	引4ガイマ	内法	H	x	W
AW	数量	2	材質	アルミ	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	3mmトメイ	仕上			
金物	1式					

1	型式	面引板バ	内法	H	x	W
WD	数量	2	材質	木	見込	40
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス		仕上	ハードン OS		
金物	カネシマ・ガイドール 扉車・ストローク調整ボルト・引込・4ヶ所20. 両面物					

2	型式	片引板バ	内法	H	x	W
WD	数量	20	材質	木	見込	40
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス		仕上			
金物	金也					



3	型式	引4ガイマ	内法	H	x	W
WD	数量	1	材質	木	見込	36
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス		仕上	OS		
金物	引込・L型 扉車・40. 下車・40. ホリス引込 120. 戸車部 1式 4P型 L型補強金 中開ト型					

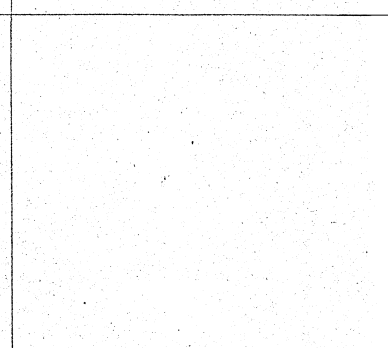
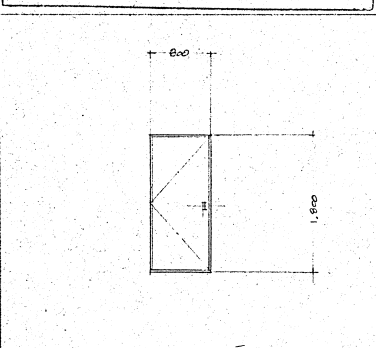
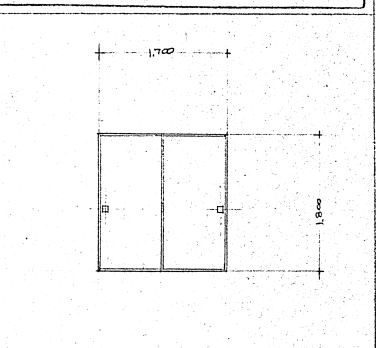
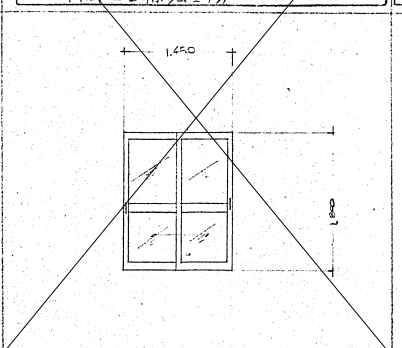
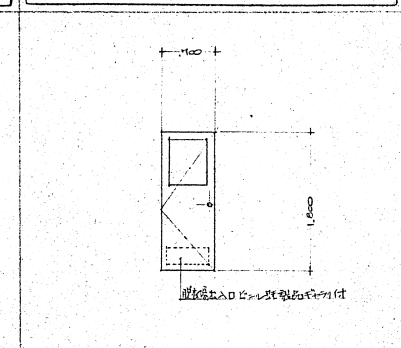
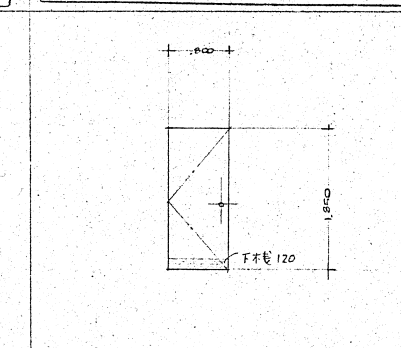
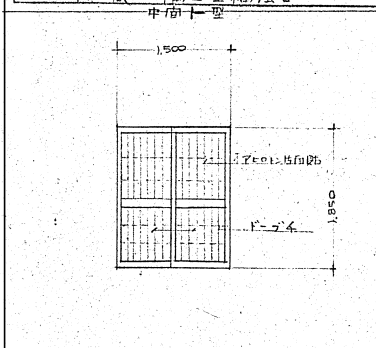
4	型式	片開フスマ	内法	H	x	W
WD	数量	2	材質	木	見込	36
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス		仕上	OP		
金物	引込・L型 扉車・122(100 3枚取 戸車部)					

5	型式	片開バ+75mm扉	内法	H	x	W
WD	数量	3	材質	木	見込	36
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	2mm 型ガラス	仕上	OP		
金物	金也, 122 2枚取					

6	型式	引4ガイマ	内法	H	x	W
WD	数量	1	材質	木 検査	見込	36
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	4mm 型ガラス	仕上	OP		
金物	引込・L型 扉車・122. 下車・40. ホリス引込 120. 4階 L型補強金物					

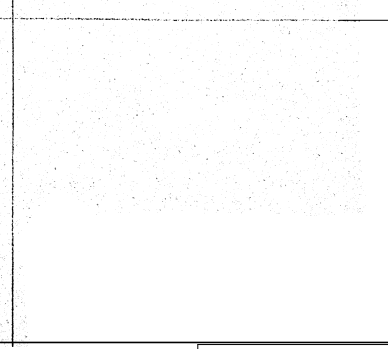
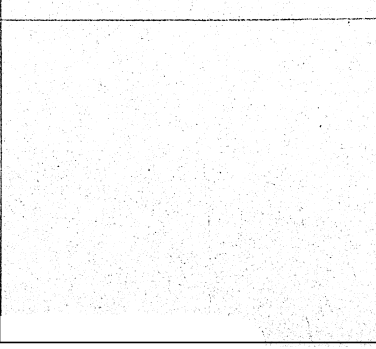
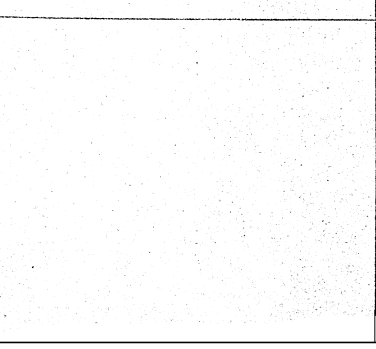
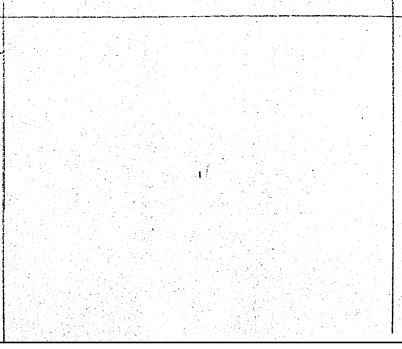
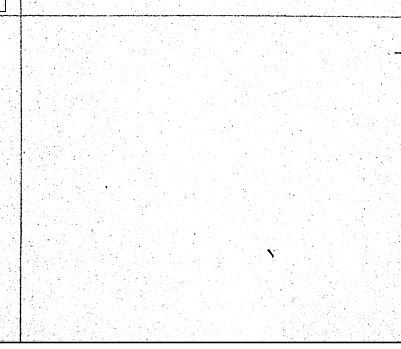
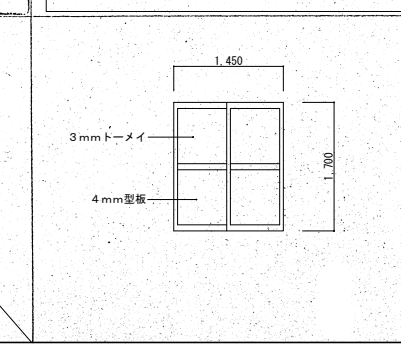
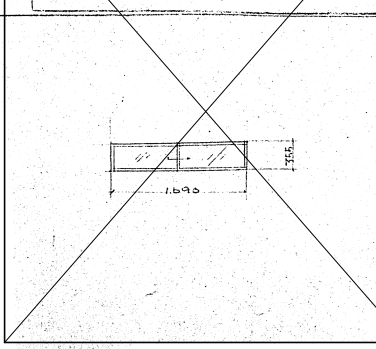
7	型式	引4ガイマ	内法	H	x	W
WD	数量	6	材質		見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス		仕上			
金物						

8	型式	片開フスマ	内法	H	x	W
WD	数量	3	材質		見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス		仕上			
金物						

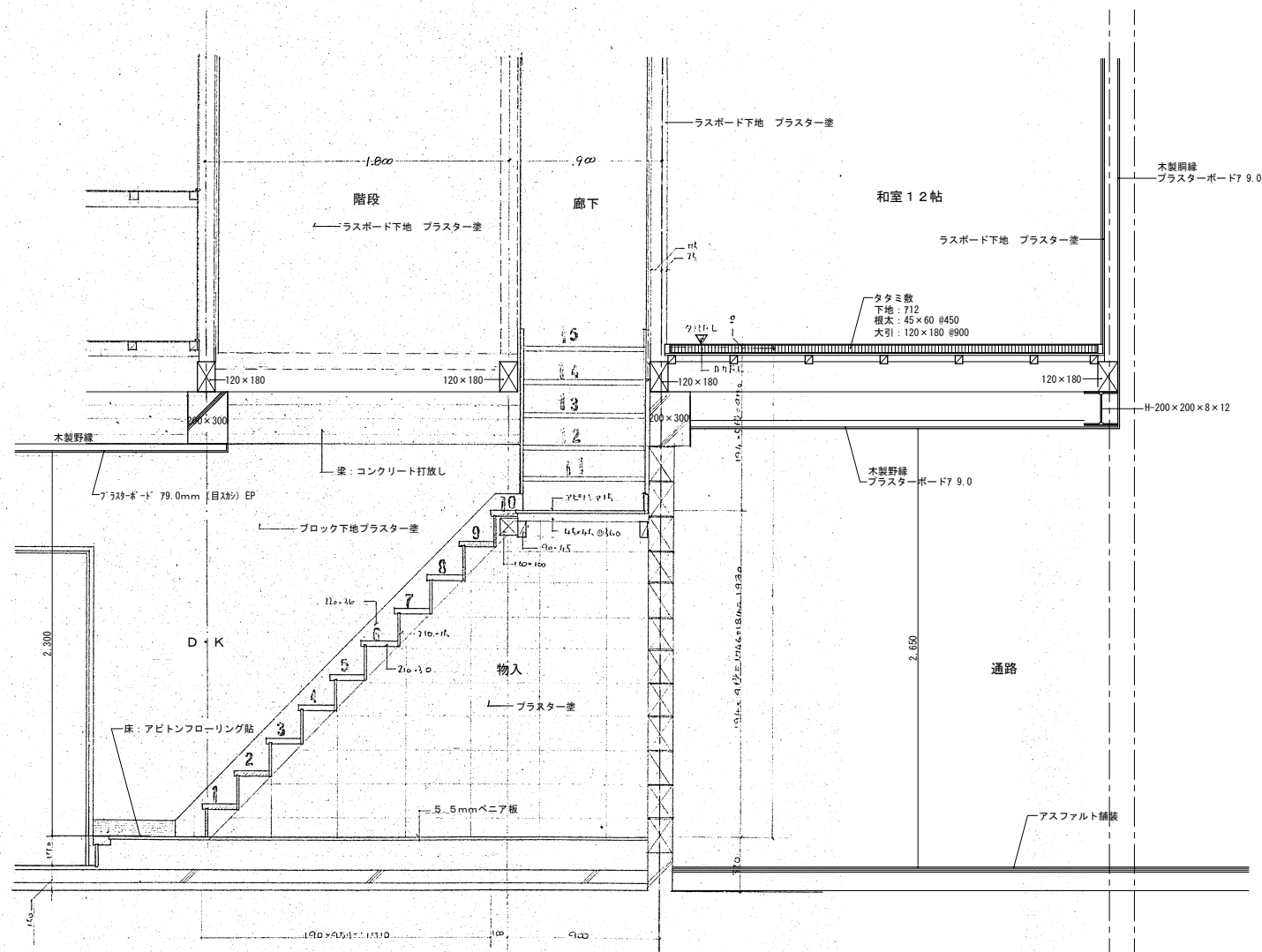


9	型式	引4ガイマ	内法	H	x	W
AW	数量	1	材質	アルミ	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	2mmトメイ	仕上			
金物						

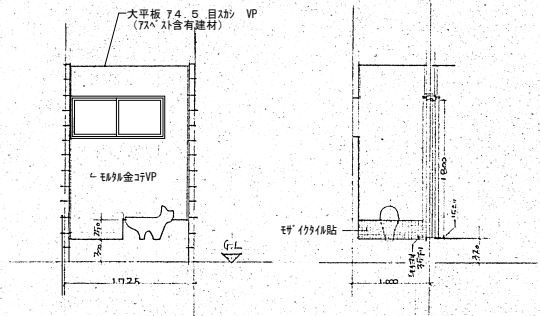
3	型式	引込ドア	内法	H	x	W
AW	数量	1	材質	アルミ	見込	
	窓格	上格	下格	中格	組子	
	ガラス	図示	仕上			
金物						



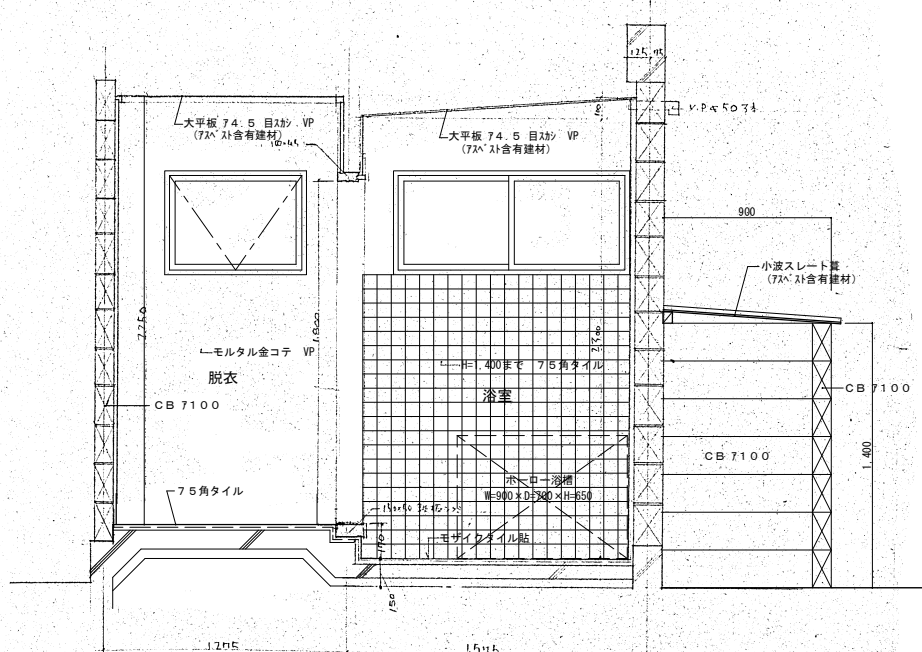
全 撤 去



階段 詳細図 1/20



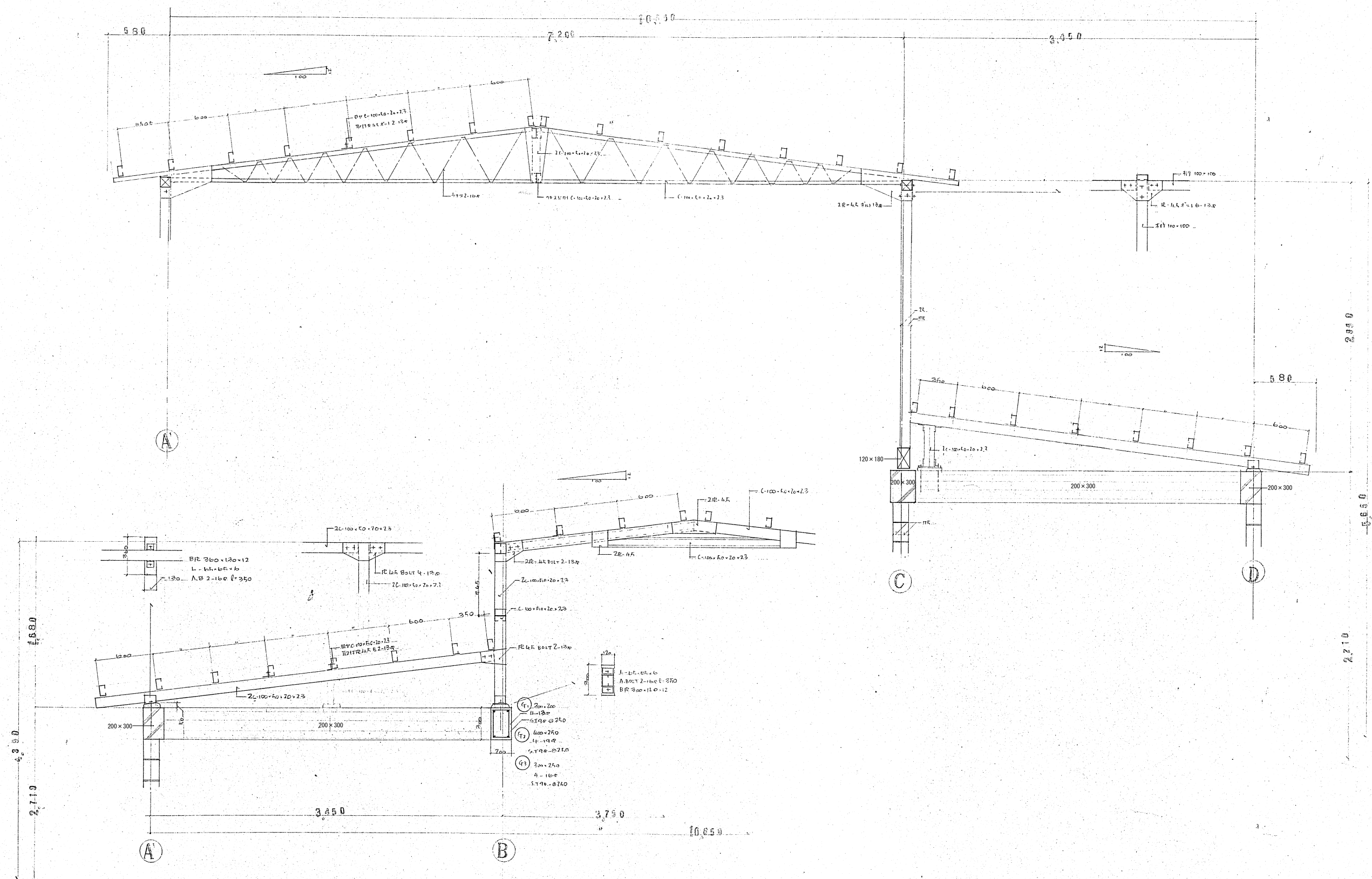
便所 展開図 1/50



脱衣洗面浴室 詳細図 1/20

全 撤 去

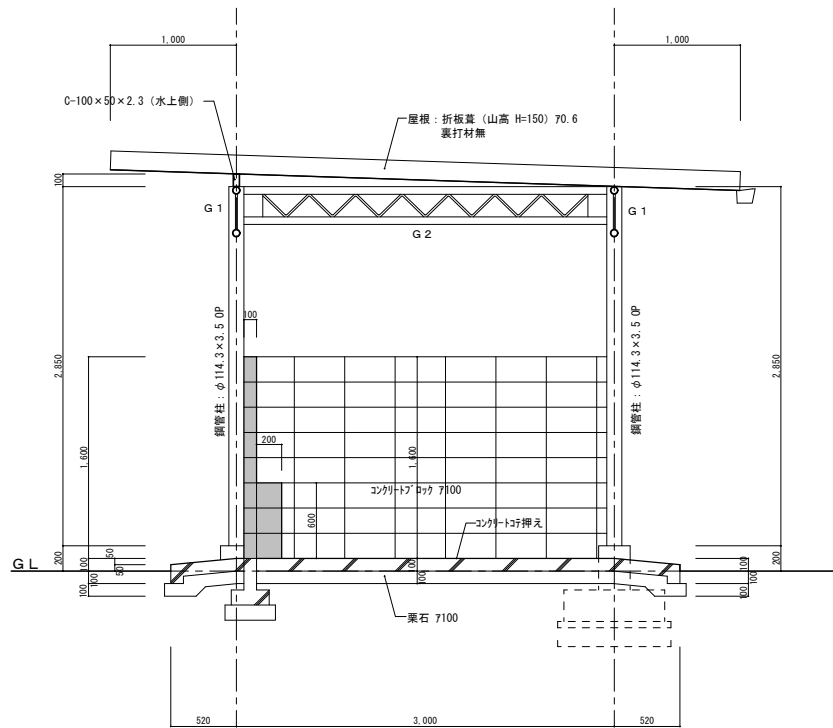
共通事項		工事名 35号きゅう舎解体工事	縮 A1版: 1/20・50 尺 A3版: 1/40・100	図 番 号 K
	詳細図	設計 年 月 日	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所	16



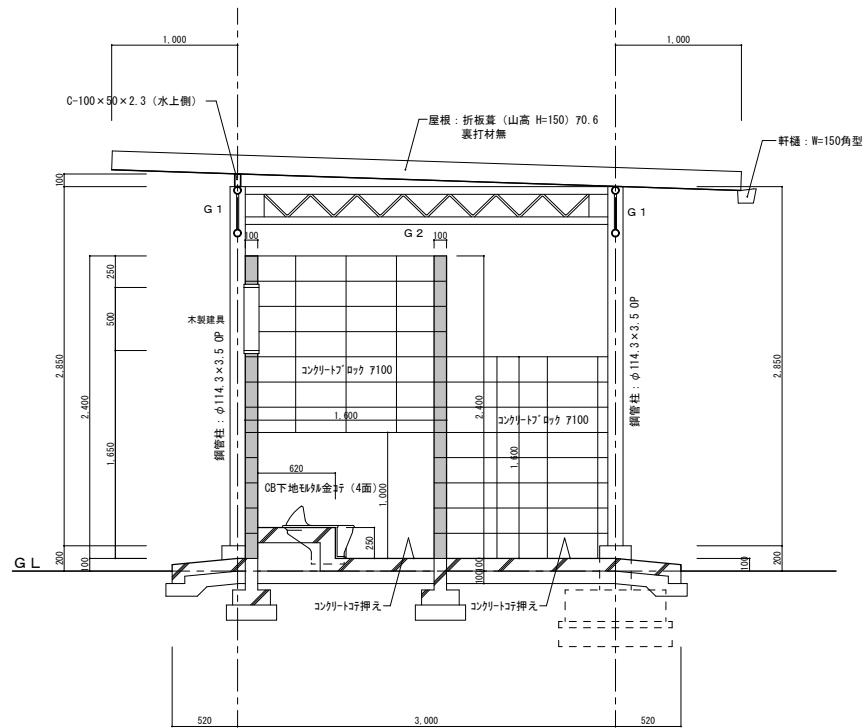
架 梁 圖

全 撤 去

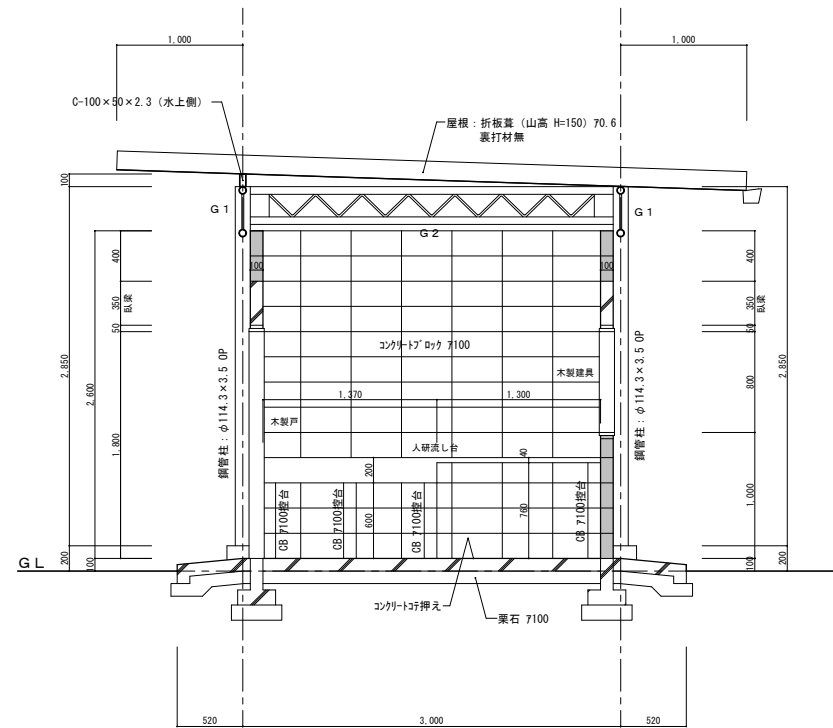
共通事項			工事名	縮 3 5 号きゆう舎解体工事	縮 A1版：1/20 尺 A3版：1/40		図 番 号 K 1 7
			図面名	架構図	設 年 月 日	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所	



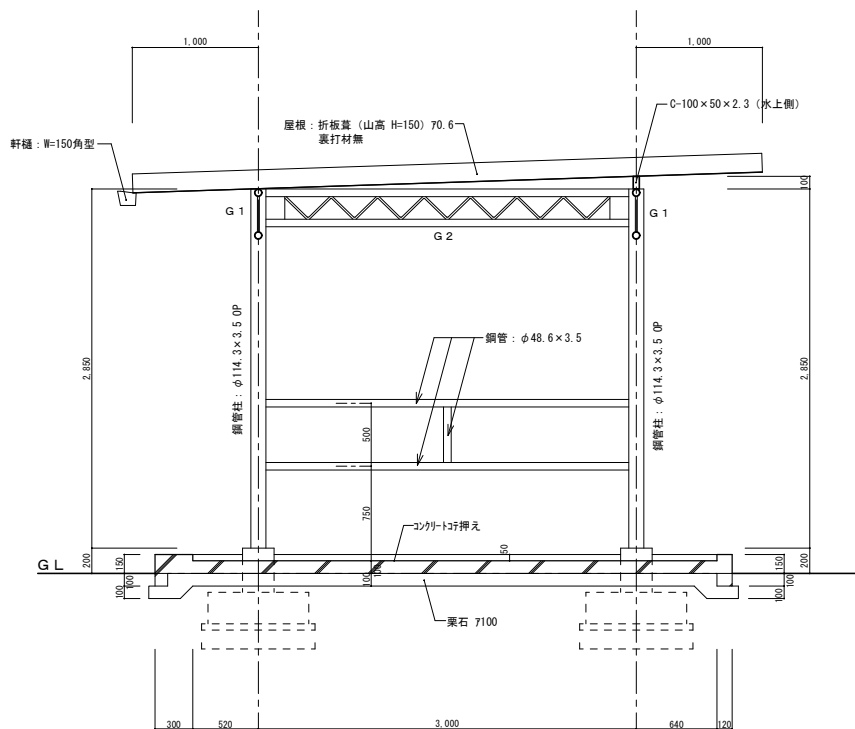
35号きゅう舎 堆肥置場図 矩計図 1/30



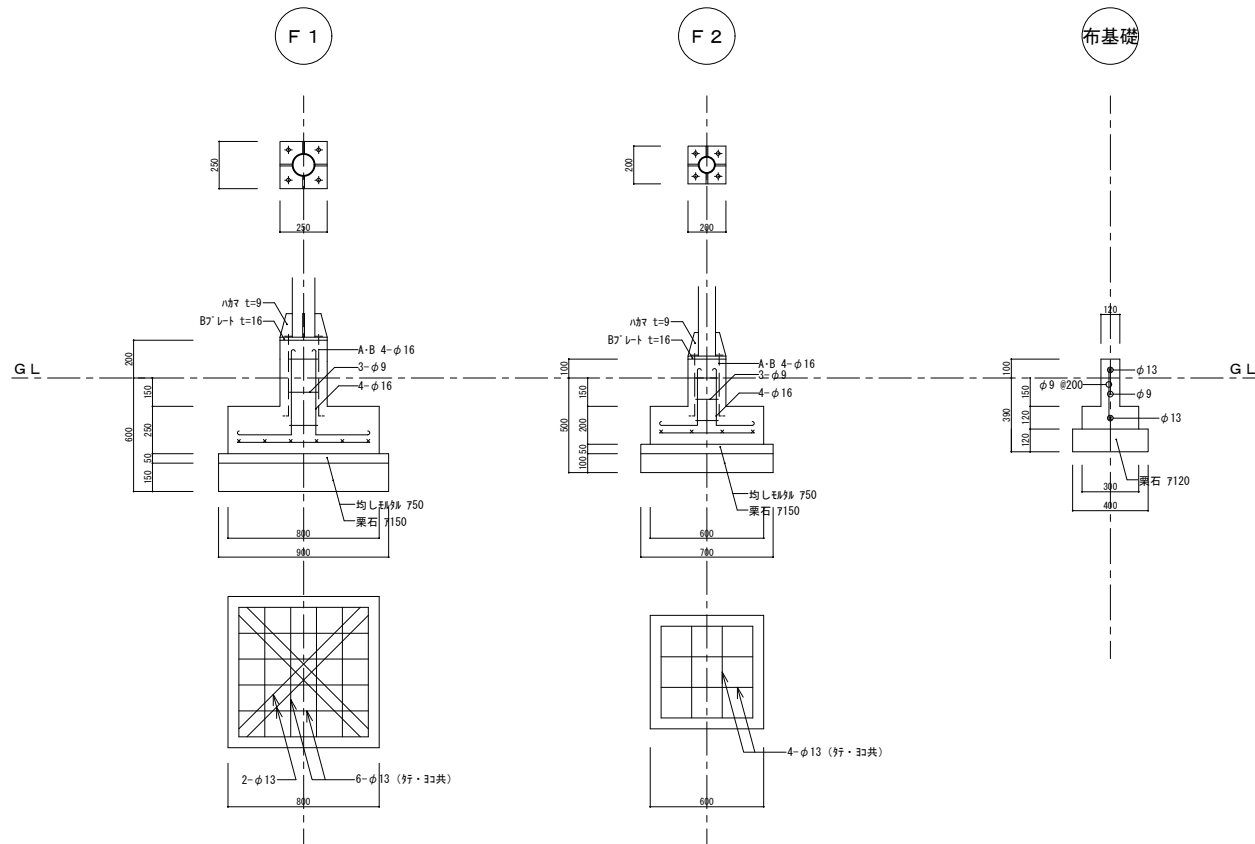
35号きゅう舎 便所 矩計図 1/30



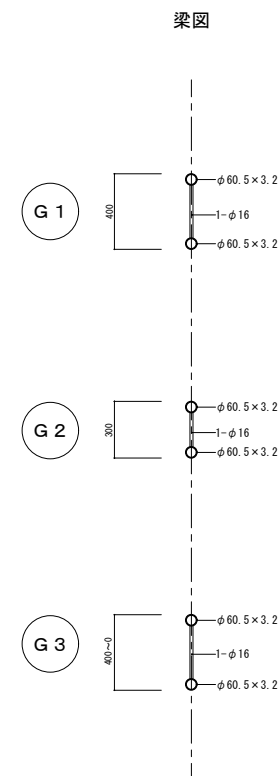
35号きゅう舎 湯沸室 矩計図 1/30



35号きゅう舎 体洗場 矩計図 1/30



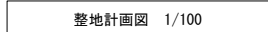
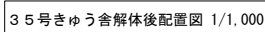
基礎図 1/20



梁断面 1/20

全 撤 去

共通事項			工事名 3 5 号 き ゅ う 舎 解 体 工 事	縮 A1版: 1/30・20 尺 A3版: 1/60・40		図 番 号 K
			図 面 名 馬 洗 場 図 - 2	設 計 年 月 日	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所	19



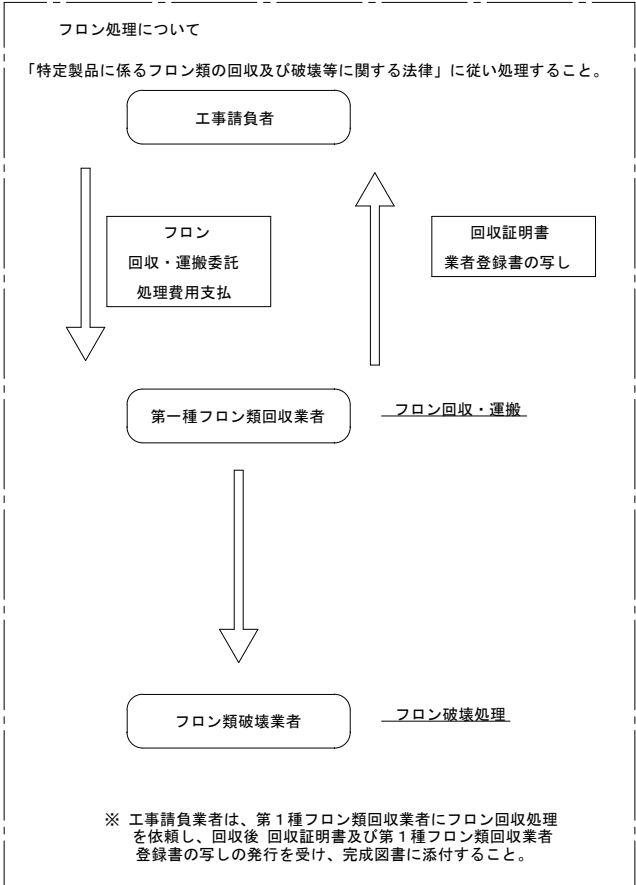
共通事項			工事名	35号きゅう舎解体工事	縮尺 A1版: 1/1,000 - 100 A3版: 1/2,000 - 200		図番号 K 20
			図面名	整地計画図	設計 年 月 日	一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所	

■ 処分方針

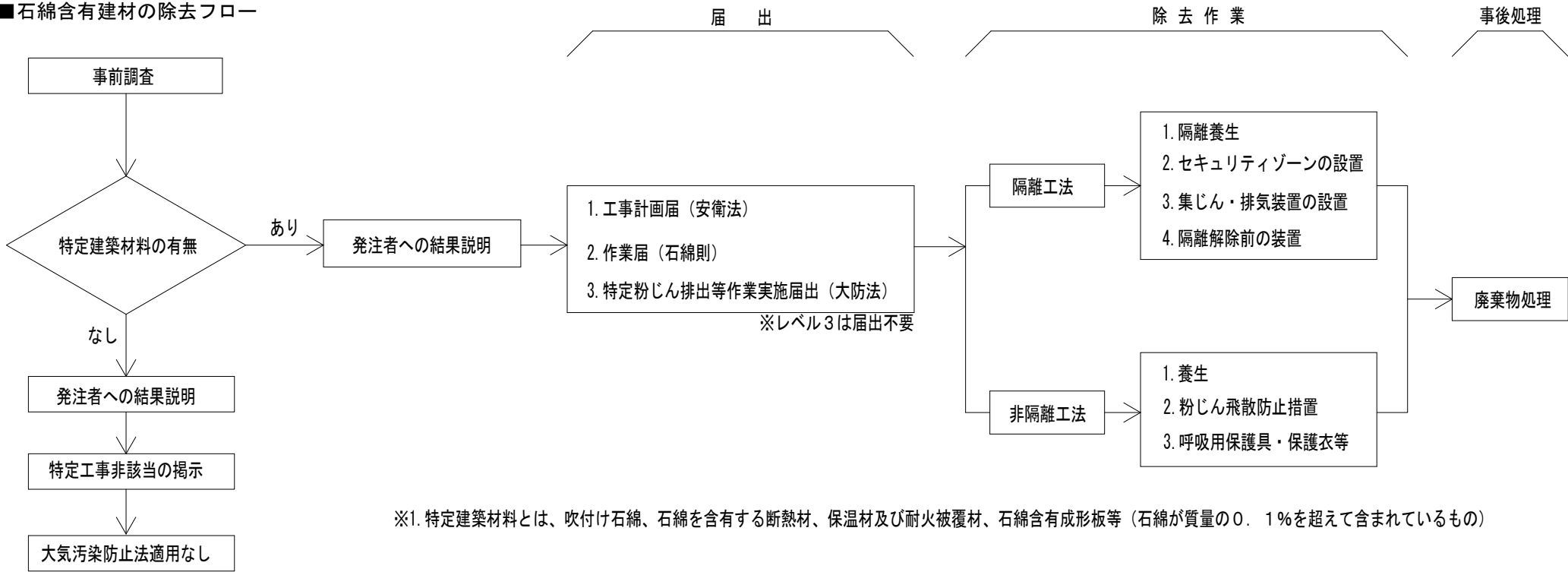
・最終処分 安定型	廃プラ・ガラス・陶磁器 非飛散性アスベスト含有建材 グラスウール・CB 混合物
・最終処分 管理型	ラスボード 石こうボード 木毛セメント板
・中間処理（破碎）	コンクリート・栗石・砂利 アスファルト 木くず・植栽
・中間処理（焼却）	タタミ
・金属類（鉄くず含）	有価処分

■ その他

1. 整 地
- ・基礎撤去後は、新規真砂土にて埋め戻し整地を行う。※周辺G Lより少し高く整地を行う。
2. 前調査
- ・解体工事に先立ち、解体建築物並びに電気・機械設備について監督員立会のもと、設計図書を参考に事前確認を行うこと。
特に電気・機械設備にあっては、その他の建物と接続されているものもある為、監督員立会のもと、事前確認を行うこと。
3. 石綿含有建材の調査について
- ・各建材について石綿の有無が不明な場合は、監督員と協議すること。

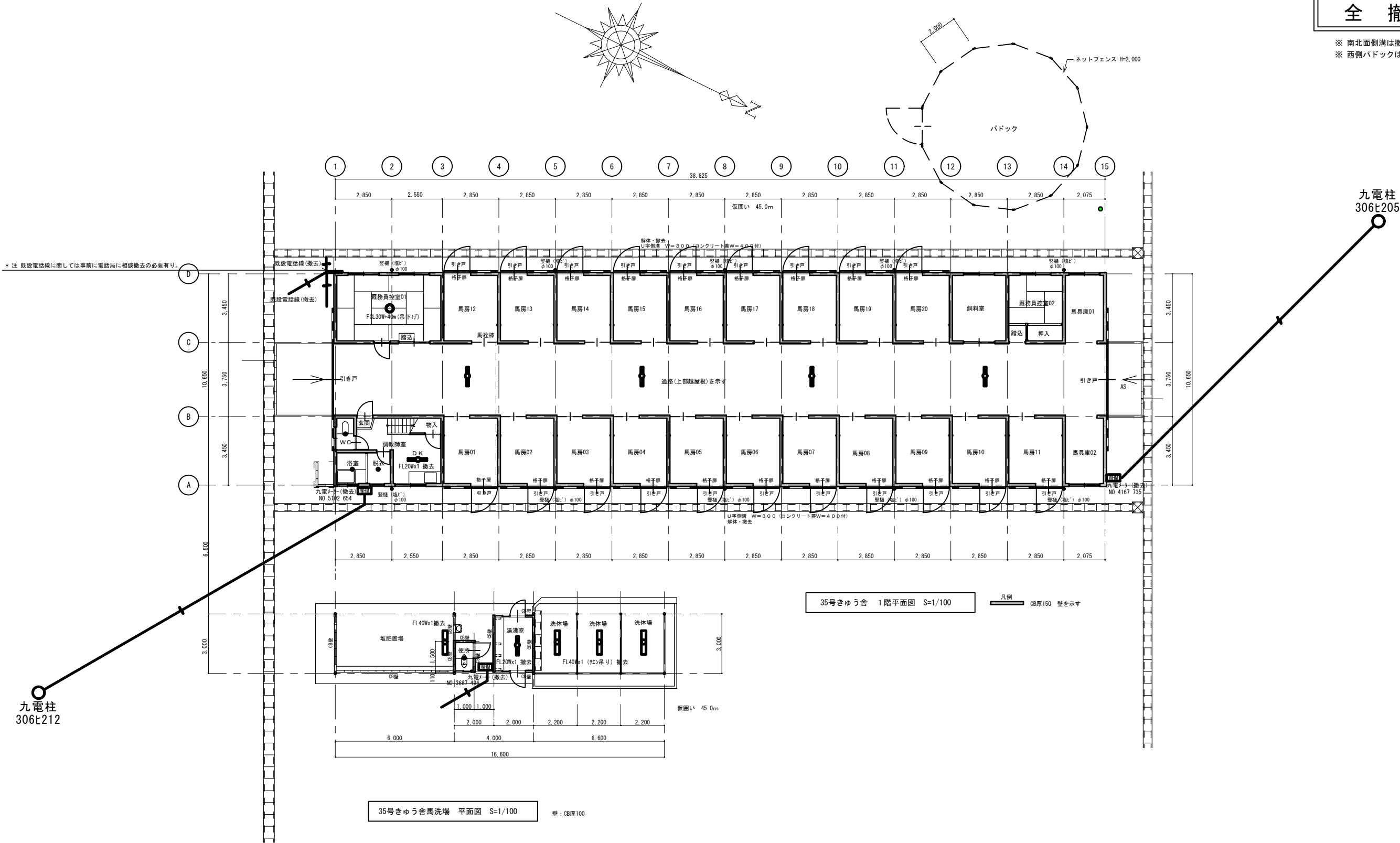


■石綿含有建材の除去フロー

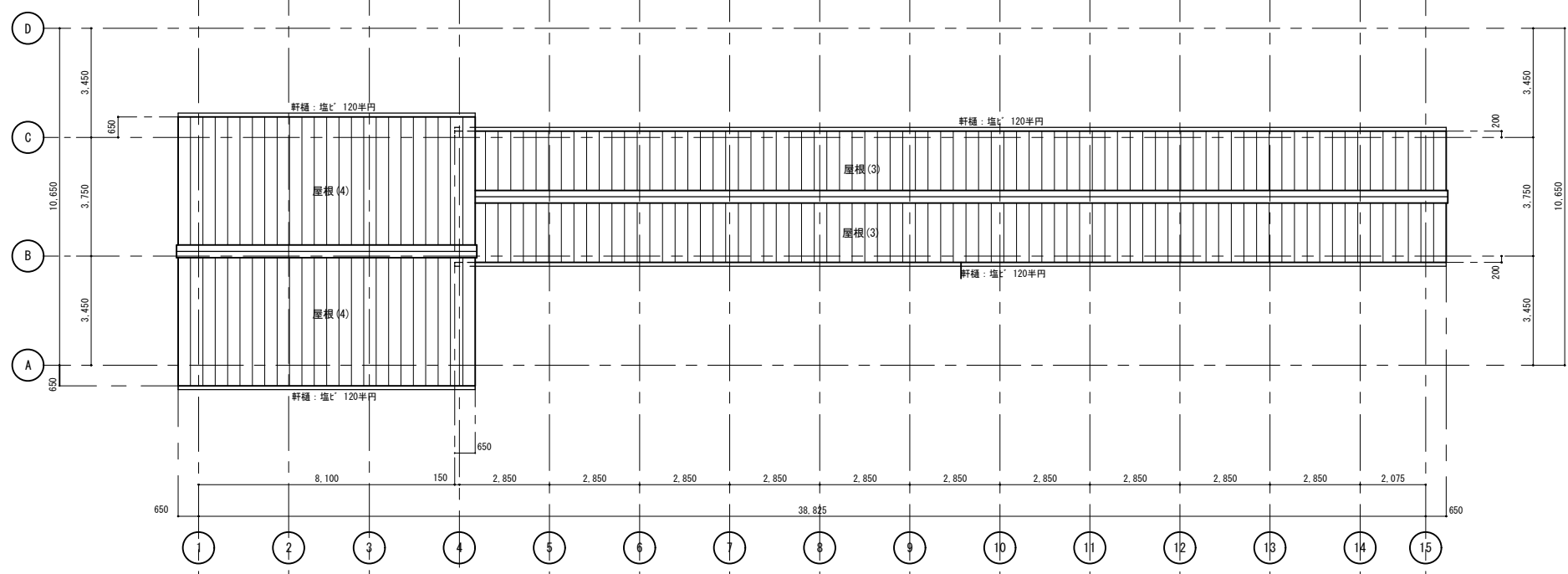


全 撤 去

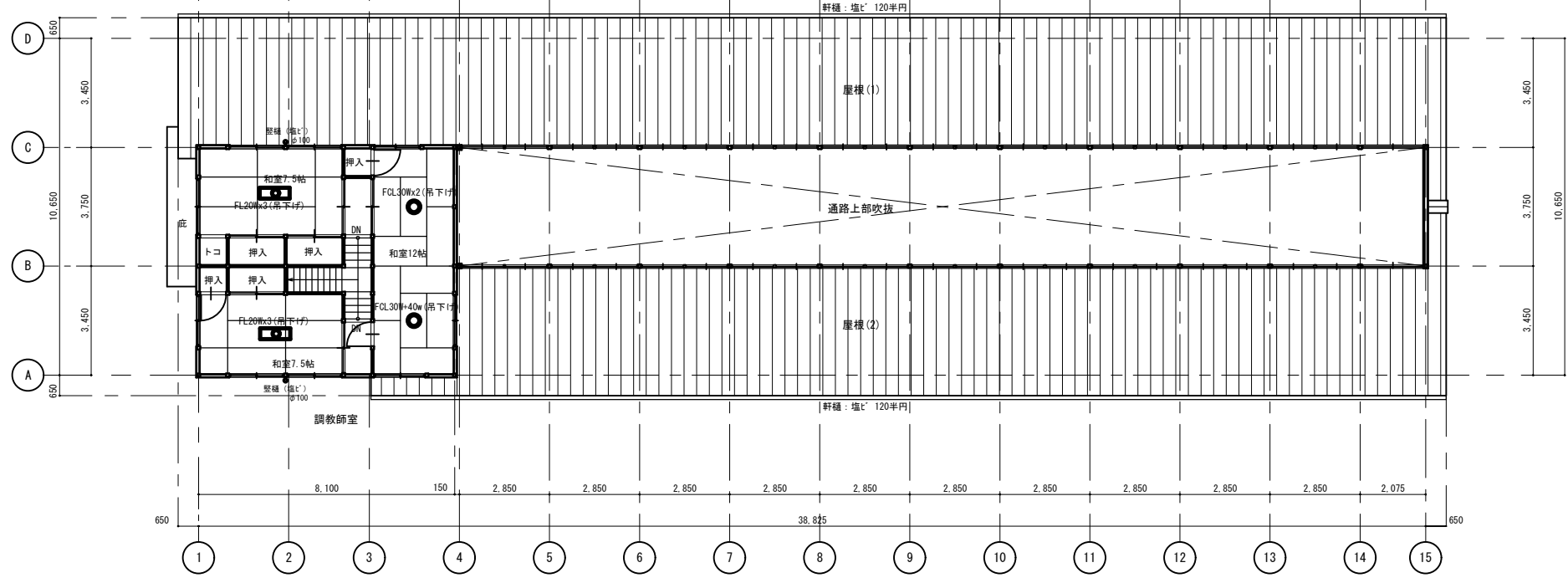
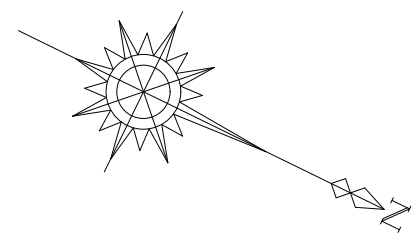
※ 南北面側溝は撤去対象外とする
※ 西側パドックは撤去対象外とする



共通事項			工事名	35号きゅう舎解体工事	縮尺	A1版: 1/100 A3版: 1/200	図番 E 01	
			図面名	1階平面図（電気設備撤去）	設計	年月日		一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所



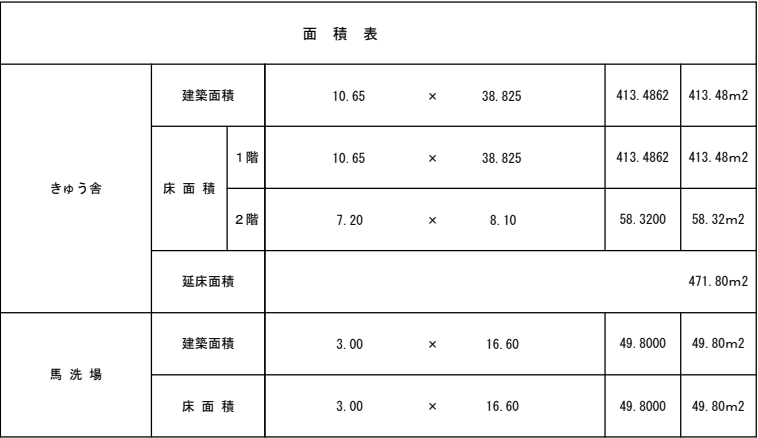
35号きゅう舎 屋根伏図 S=1/100



35号きゅう舎 2階平面図 S=1/100

面 積 表					
きゅう舎	床 面 積	2階	7.20 × 8.10	58.3200	58.32m2

※ 南北面側溝は撤去対象外とする
※ 西側パドックは撤去対象外とする



共通事項			工事名	3 5号きゆう舎解体工事	縮尺	A1版：1/100 A3版：1/200	図番号 M / O 1	
			図面名	1 階平面図(衛生設備撤去)	設計	年 月 日		一級建築士登録 第 341277 号 白濱 宗徳 (有)白濱建築設計事務所